



# 2015年度 多摩大アクティブ・ラーニング発表祭



日時:2015年12月12日(土) 10:00~17:00

会場:多摩大学 多摩キャンパス 101教室&201教室

主催:多摩大学地域活性化マネジメントセンター事務課

## 2015年度 多摩大アクティブ・ラーニング発表祭 スケジュール

101教室		201教室			
9:30 受付開始					
<b>第1部</b>					
10:00 開会の挨拶 多摩大学地域活性化マネジメントセンター長 諸橋正幸					
10:10 ~ 10:20 教室移動 (10分)					
司会: 中庭		補佐: 清松			
司会: 久保田		補佐: 酒井			
10:20	A-1 地域再生の成功の方程式	インターゼミ(地域再生班)	B-1 近隣交流七輪プロジェクト2015		
10:35	A-2 日の出町産業振興プロジェクト	奥山雅之ゼミ (地域産業・中小企業研究室)	B-2 地域商店街復興と大学複合PR冊子制作		
10:50	A-3 プロジェクトゼミ『事業構想入門講座(1)(2)』	見山謙一郎プロジェクトゼミ	B-3 多摩市諏訪小学校放課後こども教室「英語であそぼう」		
11:05	A-4 諏訪小学校野菜バザー その後の展開・ひじりっこ農園プロジェクト	梅澤佳子ゼミ	B-4 多摩大を地域にPR		
11:20	A-5 みんなの食卓プロジェクト2015	梅澤佳子ゼミ	B-5 地域ビジネス研究プロジェクト		
11:35 ~ 13:00	昼休み (85分) ※学食にて昼食懇親会				
<b>第2部</b>					
司会: 酒井		補佐: 村山			
司会: 奥山		補佐: 樋口			
13:00	A-6 地方自治体との連携によるラジオ番組企画出演	中村その子ゼミ	B-6 多摩グリーンライフプロジェクト2015		
13:15	A-7 エムールプロジェクト	酒井麻衣子ゼミ	B-7 多摩グリーンライフプロジェクトII-多摩市みどりのルネッサンス		
13:30	A-8 プロジェクトゼミ『集客施設のマーケティングI・II』	サンリオピューロランドゼミ	B-8 地域産業研究プロジェクト		
13:45	A-9 スポーツごみ拾い	久恒啓一ゼミ	B-9 新居由佳梨ピアノリサイタル		
14:00	A-10 多摩祭野外イベントプロジェクト	松本祐一ゼミ	B-10 ニュータウン2015 ~多摩版CCRCを中心とした高齢者にもやさしい街の構築~		
14:15 ~ 14:30	休憩 (15分)				
<b>招待発表</b>					
司会: 松本		補佐: 酒井			
14:30 ~ 15:00	「球場を満員にするプロジェクト」調査報告 - 来年度も満員にするために -	帝塚山大学 経済学部「プロジェクト演習・スポーツ経済」、経営学部「実践的スポーツビジネス」履修者の皆様			
	復興支援に挑戦するTEZU cafe(学生レストラン)プロジェクト				
15:00 ~ 15:45	日本酒企業におけるインバウンド型の海外需要獲得モデルの実証と提案			帝塚山大学 河合洋見ゼミの皆様	
	高齢者介護施設と空き家の新結合によるソーシャル・イノベーション				
伝統品企業のマーケティング・プロセス~多摩の日本酒企業を事例に~		東京経済大学 山本 聡ゼミの皆様			
15:45 ~ 16:00	休憩 (15分)				
<b>第3部</b>					
司会: 梅澤		補佐: 奥山			
司会: 杉田		補佐: 大森			
16:00	A-11 志企業の会社案内プロジェクト	梅澤佳子ゼミ、志賀敏宏ゼミ、酒井麻衣子ゼミ、石川晴子ゼミ、奥山雅之ゼミ	B-11 琉球国と東アジア交流~琉球史から沖縄の経済的自立を考える~		
16:15	A-12 プロジェクトゼミ『メディア実践論I・II ~メディアをつくる・大学発情報発信をめざして~』	木村知義プロジェクトゼミ	B-12 コミュニティラジオ局での大学情報発信番組の制作出演		
16:30	A-13 訪日リピーターに日本の魅力を発信し、日本通を育てるためのSNSの活用~沖縄観光と日本食文化を例として~	インターゼミ(サービス・エンターテインメント班)	B-13 野沢温泉ブランディングプロジェクト		
16:45	A-14 地域学生センター	地域学生センター入居学生	B-14 多摩大フットサル大会		
17:00					
17:15 ~ 17:20	教室移動 (5分)				
17:20	来賓ご挨拶 帝塚山大学経営学部長 日置慎治 様				
17:25	閉会の挨拶 多摩大学副学長 久恒啓一				

### ★★ イベントのお知らせ ★★

プレゼミ主催 懇親会 「和」~Space of the "WA"~

村山ゼミ主催イベント「和紙キャンドルガーデン-TOHOKU2015-in 多摩」

時間: 発表祭終了後~20時

場所: T-studio 1階

内容: お茶、お団子の販売

1年生のゼミである「プレゼミII」(C4クラス村山先生担当)の活動として、発表祭終了後の懇親会を企画してくれました! ぜひお立ち寄りください。

時間: 16時~20時

場所: 芝生広場、T-studio 2階、112教室ほか

内容: 学生が、東日本大震災の被災地38市町村をまわり、集めた被災者2,700人のメッセージを和紙キャンドルにのせて伝えます。

ブースでは福島県楡葉町の名物マミーすいとんを提供、また、駄菓子を販売したり、お茶席や東北の昔遊びで楽しんでいただきます。

## 近隣交流七輪プロジェクト ひじり館こども夏まつり 2015

多摩大学経営情報学部梅澤ゼミ

土屋建人、本吉健太、矢部雄太郎（3年）

渡邊大河、栗原紗莉亜、鈴木俊太、中村有梨沙、藤井駿（2年）

### 1、プロジェクトの目的

多摩ニュータウンは、集合住宅が多いため単身世帯、核家族が多く、高齢化が進んでいる。近年、子育て世代の家族も増えているが、近隣同士の交流機会が減少していることが課題となっている。プロジェクトの目的は、地域の方々の交流の場を作り「世代間交流」や「地域住民間の交流」を行ってもらうことである。

七輪は直径 30 センチと小さいため、人と人との身体的距離が自然と近くなる。また、食材に火が通るまでに時間がかかることから、食材を焼きながら会話が生まれやすいという特徴がある。片桐先生の取り組みを引き継いだ梅澤ゼミの近隣交流七輪プロジェクトは6年目となり今年度はさまざまな取り組みを試み、新しい展開をすることができた。

### 2、活動内容

#### (1) 「多摩諏訪名店街東北復興サマーセール」からの撤退

本プロジェクトの出発点となった「多摩諏訪名店街東北復興サマーセール」での活動を今年も行う予定だったが、プロジェクトゼミ「多摩市のシティセールス」を担当する浜田健史先生が、ご自身が諏訪名店街で経営する「多摩ラボ」でプロジェクトゼミの学生たちと行うことになり、名店街会長から梅澤ゼミの活動は断られることになった。

例年楽しみに食材を準備してくてる方々や諏訪小学校おやじの会、諏訪児童館とのネットワークなどがやっと出来てきた中で大変残念なことであったが、このことは、私たちの活動の意味を5年間の活動で諏訪名店街の皆さんに十分に伝え切れなかったことに問題があるのだと認識し、大きな反省材料になった。

#### (2) ひじり館こども夏まつり：2015年8月22日(土)、23日(日)

今年のひじり館こども夏まつりでは近隣交流七輪以外にも「ウッドクラフト教室」、新規に「らくがきコーナー」を行った。「らくがきコーナー」では子供たちの想像力を活かした作品を作ることができ、多くの幼児・児童に参加してもらうことができた。近隣交流七輪では、昨年の反省を活かし無駄に学生が集まりすぎないようにシフトを工夫した。



近隣交流七輪、ウッドクラフト、らくがきコーナー、それぞれのイベントに担当者を決め、役割をはっきりさせた。



### (3) ひじり館まつり：2015年11月15日(日)

今年度のひじり館まつりは、開館20周年を記念する行事となり、前日の14日(土)は記念式典が行われた。そのようなことから、ひじり館まつり実行委員会側の人手が足りず、



梅澤ゼミが焼きそばの模擬店も担当することになった。秋のひじり館まつりは2年生のみで運営することになっていたため焼きそばと近隣交流七輪の2つをこなせるか心配であったが、プロジェクトメンバー以外の2年生の協力もあり、予想以上の活動を行うことができた。夏祭りの反省を活かし、看板やメニュー表をカラフルにするなど改善し、予定していた時間よりも早く食材も完売した。

昨年度のひじり館まつりは、お天気が悪く、外の模擬店が中止となった。今年も前日までお天気が悪く、秋のひじり館まつりの運営については、屋外でのシートに車座となる七輪での交流は難しいのではないかと考えている。今回も結果的に近隣交流七輪ではなく、記念串や焼き鳥を買っていくお客様が中心になってしまった。この点については、次年度に向けて検討していきたい。

### 3、 成果と課題

今年度はひじり館子ども夏祭り実行委員会・ひじり館まつり実行委員会の会議に全て出席することができた。2年生の活躍もあり、ひじり館子ども夏まつりは3年が中心となり、ひじり館まつりは2年が中心となって活動することができた。

また、ひじり館子ども夏まつりでは、新規に「らくがきコーナー」を幼児・児童を対象に行い、多くの幼児・児童に利用してもらうことができた。

秋祭りではひじり館の20周年記念にちなんだ記念串も好評でわずか2時間で完売してしまった。しかし、本来の目的である「近隣交流七輪」の運営では仕組みを再検討する必要

がある。

#### 4、 外部評価

多摩市立聖ヶ丘コミュニティセンター運営協議会の皆さまから活動についての感想を頂戴した。

##### (1) こども夏まつり

①近隣交流七輪：8/22（土）・23（日）玄関前広場 16:00～18:00

##### 総評

ご協力戴きまして有難うございました。まつりに若い人が参加いただけますと、まつり自体が活性化します。また、接客態度も学生らしく良好で好感が持てました。日曜日は雨天で客足が鈍く残念でした。

ウッドクラフト講座：8/22（土）プレイルーム 11:00～14:30

今年は、場所をプレイルームに変更したのと、スタンプラリーは中止したので、集客に問題がありましたが、まつりのイベントとして定着してきました。

らくがきコーナー：8/23（日）プレイルーム 11:00～14:30

聖小PTAの発案で梅澤ゼミが担当してくださった初めてのイベントとして開催で、どうなるのか不安でした。結果は好評で力作も多く継続開催が望まれるイベントとなりました。子供達とのふれあいも良好で大成功となりました。

##### 事前準備

看板を開催中に作成されておりました。事前準備不足かなと感じました。また、集合時間が30分前では遅すぎます。

##### (2) 秋のひじり館まつり

①近隣交流七輪 11/15（日）玄関前広場 11:00～15:00

##### 総評

ご協力戴きまして有難うございました。まつりに若い人が参加いただけますと、まつり自体が活性化します。また、接客態度も学生らしく良好で好感が持てました。

##### 事前準備

近隣交流七輪の看板を開催中に作成されておりました。事前準備不足かなと感じました。

##### 近隣交流

今年は前日からの雨模様で開催が心配されましたが、何とか悪条件ながら開催できました。また、焼きそばも担当して頂いたので、場所が狭いという悪条件も重なりました。悪条件の中での開催のためか、主目的の近隣交流の場ではなく、販売が主体と見受けられて皆様には不本意な結果だったのではないですか？どんな話題で交流を図るか等の事前検討があったのか、外から見ると不明でした。

②焼きそばの売上情報 11/15（日）玄関前広場 11:00～15:00

■売上：25,350（約101食分）

■支出：14,651

昨年度は2日間で約5万円の売上でした。今年は1日だけなので半分の2万5千円ですから平年並みの売上です。20周年記念事業と重なって焼きそばの担当部署が見つからないところにご協力を戴きまして有難うございました。

#### 謝辞

今年度、ご指導いただき、お世話になりましたひじり館こども夏まつり・ひじり館まつり運営協議会の皆様、一本杉炭やき倶楽部、多摩グリーンボランティア森木会の皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

# 地域商店街復興と 大学複合PR冊子制作

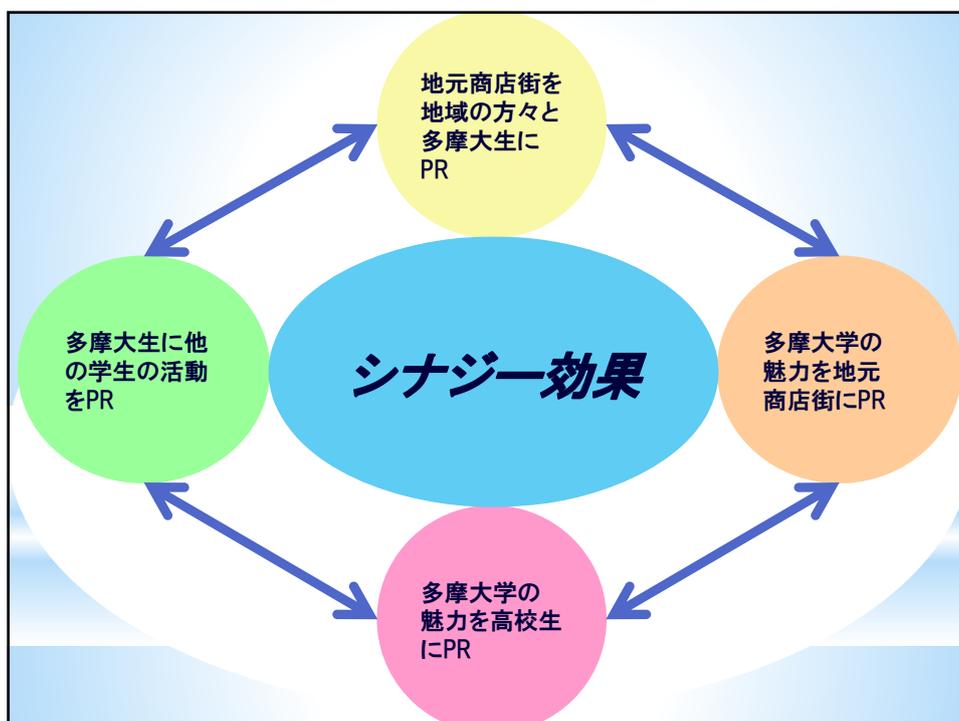
中村その子ゼミ  
小池伽奈・服部頌子

## \*制作目標

- ☆多摩地域の商店街を活性化するため
  - ☆地元の人、多摩大学の学生にも  
多摩の魅力をもっと知ってもらいたい
- 内容、手法ともに  
よくある紹介冊子ではないもの＝  
地元商店街と大学PRの複合形式

## \* ターゲットと効果

- \* 地元商店街にある店を地域の方々と多摩大生にPR
- \* 多摩大学の魅力を地元商店街にPR
- \* 多摩大学の魅力を将来の多摩大生である高校生にアピール
- \* 多摩大生に多摩大学での他の学生の活動をアピール



## \* 商店街探索

☆多摩市で多摩大学から近い商店街を探し、  
桜ヶ丘南口商店街へ  
せいせき桜まつり、ボランティアまつりなどが  
開かれる雰囲気を重視

☆商店街をフィールドワークした結果  
メニューや雰囲気が学生向きの  
シナモンというカフェレストランをPRすることに

## \* 制作にあたり心がけたこと

☆お店の紹介をするだけでなく、店主やお客様  
様の体温が感じられるものに

☆取材はすべて自分たちが実際に感じたこと  
見たことを大切に。

☆シナモンというお店が単なるレストランでは  
なく、地域の中でどんな役割をもっているの  
かも伝える

そのために…

- ・写真は全部自分たちで撮影
- ・実際にお店に何度も行って、メニューを  
実食
- ・店主にインタビュー
- ・お客様にもインタビュー
- ・原稿を起こす
- ・メニューを分析研究

## \* 今後の展開

☆ 第2弾を制作予定

桜ヶ丘南口商店街 伊勢屋

昔ながらの手作りの

和菓子屋 シナモンとはまた違った性格のお店

☆ 冊子制作をラジオ番組に

FMTMU(多摩大学インターネット放送局)

でこの冊子制作を元に、地元紹介番組を制作

シナモンのオーナーをお呼びしてトーク番組

## \*新しい形の連携も

- \*シナモンのオーナーを迎えての講座や座談会
- \*伊勢屋の和菓子を学内で販売。和菓子についての話を聞く
- \*メニューの試食会
- \*冊子を作るだけに終わらず、冊子を中心に新しい展開を創る

\*ご清聴ありがとうございます

**2015 年度 多摩大学石川晴子ゼミ**  
**多摩市立諏訪小学校 放課後子ども教室「諏訪小ふれんず」**  
**「英語であそぼう！」プロジェクト**

参加メンバー：石川ゼミ 2, 3 年生（計 20 名）

I. 諏訪小ふれんずとは

放課後の児童の安全な居場所を提供する場として、東京都多摩市がサポートする、諏訪小学校の放課後子ども教室のことで、多摩市教育連携コーディネーターが中心となり、大学生（現在は多摩大学石川ゼミと法政大学ボランティアサークルの学生）、教員、地域住民、児童館職員が連携し、協同で運営しています。参加する大人は全員、安全管理員として市に登録します。

児童の参加は、保護者の承諾を要するため、登録制となっています。対象学年は、3～6 年生で、開催日は主に、火曜日（自由遊びの日）、金曜日（学習の日）の週 2 日です。責任者として地域住民 2 名の参加が必要なため、日にちによっては開催できないことがあります。

開催日の候補は、月 1 回の定例会議で決まり、各団体の代表者が、参加したい日にちを申請する仕組みとなっています。連絡は、代表者はメーリングリストを通して、全体では TOWNTIP という SNS を通して行います。TOWNTIP への登録は、参加者全員必須となっています。

諏訪児童館、諏訪小 PTA、おはなしの会、おやじの会と共催で「流しそうめん&スイカ割り」、「ハロウィンのかぼちゃランタンづくり」、「すわっこまつり」、「こどもまつり」、「どんど焼き」などのイベントも実施しています。

II. 石川ゼミ「英語であそぼう！」プロジェクトとは

上記「諏訪小ふれんず」の金曜日（学習の日）に行っている今年 5 年目となるプロジェクトです。具体的な内容は、ゲームや遊びを中心とした英語授業（フルーツバスケット、英語カルタ、神経衰弱、数字すごろく、など）で、学生が教材作成を含め準備から実施まですべて行います。

「諏訪小ふれんず」の登録児童は 50 名程度（Brillia 多摩ニュータウンの建て替えにより今後増える見込み）ですが、1 回の平均参加人数は 15~20 名程度です。英語授業のあとに遊

びの時間があり、大学生はバトミントン、フリスビー、大縄跳びなどを使って子どもたちと自由に遊びます。終了後は、地域の安全管理員と大学生で反省会をします。

今年度はゼミのプロジェクト参加メンバーを 7 グループに分け、ローテーションで実施しています。定例会や「諏訪小ふれんず」のイベントにも参加しています。

#### 最近の参加実績

2013 年度：「英語であそぼう！」12 回、流しそうめんとスイカ割りへの参加 1 回、国際コミュニケーションデーへの参加 1 回

2014 年度：「英語であそぼう！」15 回、流しそうめんとスイカ割りへの参加 1 回、すわっこ祭りへの参加 1 回

2015 年度：「英語であそぼう！」16 回、流しそうめんとスイカ割りへの参加 1 回、すわっこ祭りへの参加 1 回

### III. 「英語であそぼう！」プロジェクトのねらい

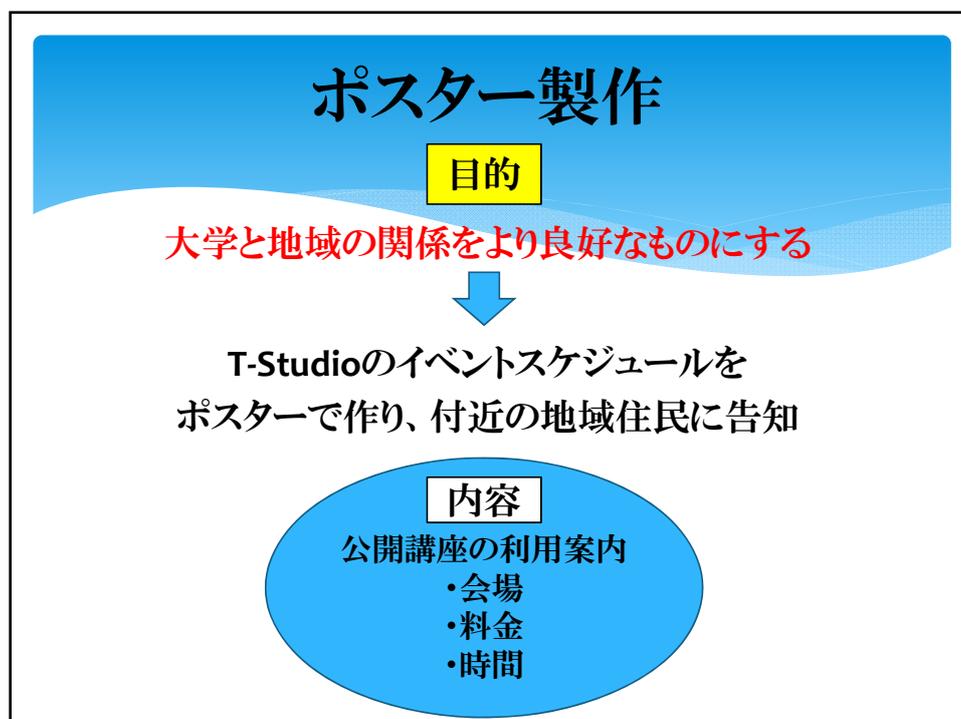
1. 小学生に外国語を学ぶ楽しさを伝える。
2. 小学生に英語の授業をすることにより、伝えたい内容をしっかり相手に伝えること、伝え方に工夫すること、相手の気持ちを読み取ること、いろいろな出来事に適切に対処することを学び、自らの成長につなげる。
3. 仲間と協力してプロジェクトに取り組むことで、よい人間関係を築く方法を学ぶ。また、グループワークのやり方について体験的に学ぶ。
4. 地域・社会の中の自分の位置と役割、社会貢献について、理解と考えを深める。

# 久恒ゼミ 大学広報班

## 目次

- T-Studioの公開講座
- 食堂





## 多摩大学 T-Studio 公開講座

**会場** 多摩大学 多摩キャンパス T-studio 2Fセミナールーム

**料金** 1講座 1,000円(一部無料講座あり)

**時間** 13:00～14:00(一部12:30開始の講座あり)

※申し込み方法

①多摩大学2015年度 T-Studio公開講座ホームページにて受付。

日付	講師名	テーマ
6月11日(木)	志賀敏宏	経営も生きがいが馬? 漕をつかむ経営とは
6月18日(木)	彩藤ひろみ	バーチャル遊園地体験
6月25日(木)	金魚伸之	健康寿命に注目! 「健康セミナー」
7月2日(木)	奥山雅之	グローバルビジネスの夜明け
7月9日(木)	浜田正幸	高齢社会における幸福な人生を考える
10月1日(木)	中庭光彦	観光地はつづられている
10月8日(木)	村山貞幸	ソーシャルビジネスを考える
10月15日(木)	今泉忠	情報の孤島はどこにあるのか
10月22日(木)	趙佑嬪	韓国語を学ぼうII
10月29日(木)	巴特尔	中国語を学ぼうII
11月5日(木)	梅澤佳子	生涯学習と社会参加
11月12日(木)	下井直毅	わたしたちは騙されているのか?
11月19日(木)	彩藤ひろみ	3Dプリンターをさわってみよう
11月26日(木)	大森映子	文化財の魅力を楽しむ
12月3日(木)	金魚伸之	健康寿命に注目! 「健康セミナー」
12月10日(木)	金子邦博	行政サービスが非効率な理由を考える
1月14日(木)	久保田貴文	スマートフォン活用術 中級編

## 多摩大学 T-Studio 公開講座

多摩大学では、地域社会の発展を目的  
とした社会人の教養と文化の向上のため  
2015年度公開講座を開催致しています

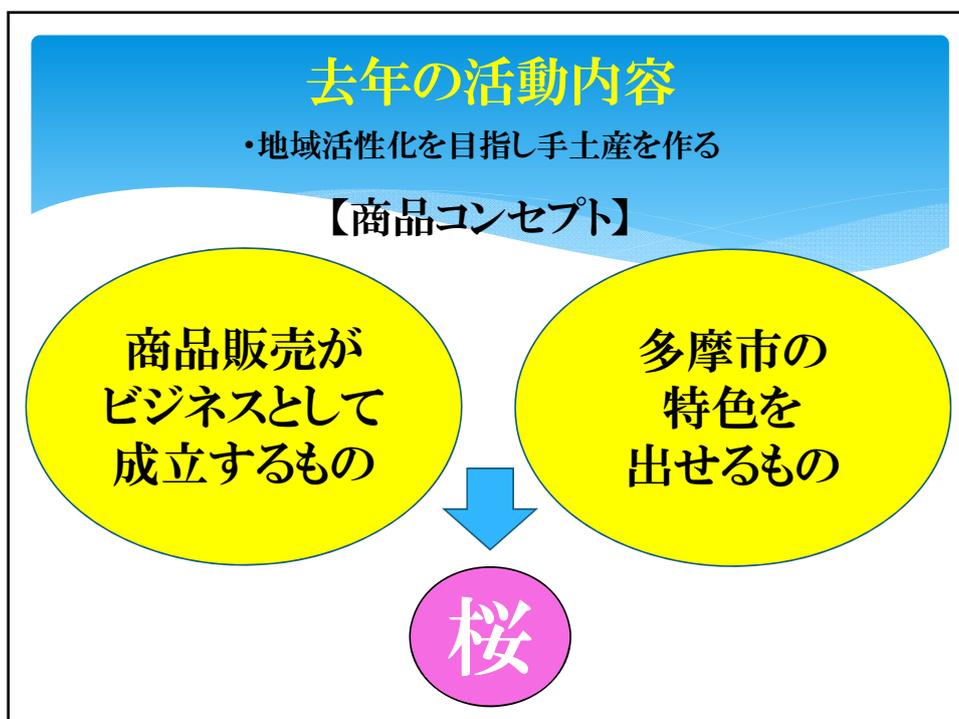
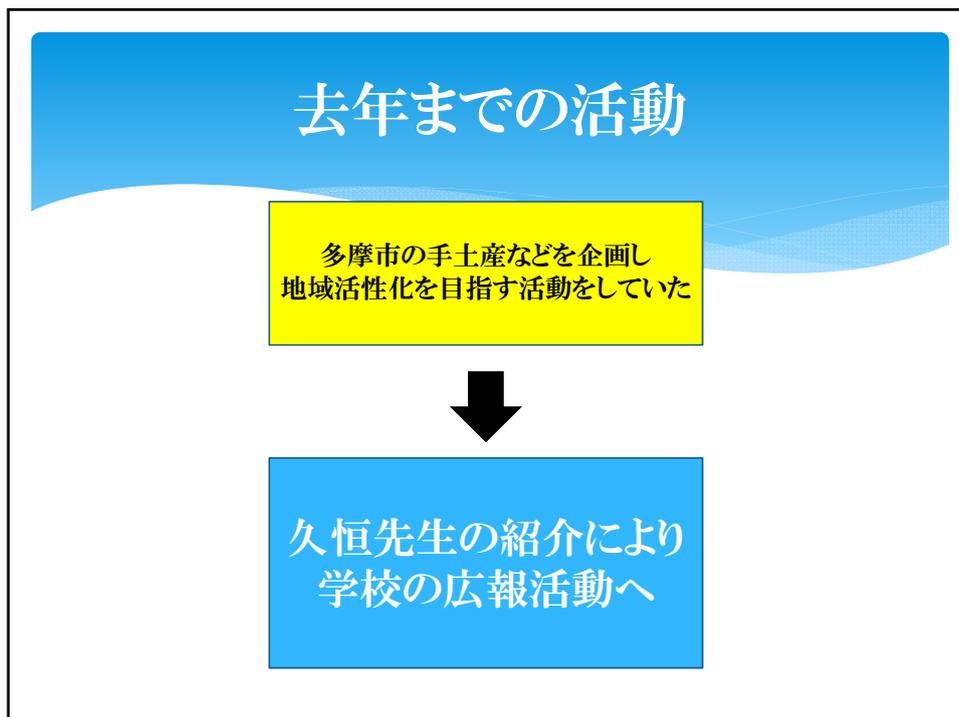
受講生の皆様の“知的好奇心”に  
お応えするため、本学の特性を生かした  
「多摩グローバル講座」、「多摩ICT講座」、  
「多摩教養講座」を開講し、  
皆様との繋がりを強くしたいと考えています。



## 食堂

多摩大学の学生食堂Felica(フェリカ)は校内4階にあり、  
多摩大学で一番見晴らしのいい場所です  
カフェテリア形式でメニューも豊富で価格もリーズナブル  
さらに今年4月にリニューアルされ新しいメニューや生  
徒達からの公募も行ったりしています

実際に  
学生アンケートで  
採用された  
オムライス



## なぜ「桜」なのか

- ヤマザクラは多摩市の「市の花」
- 乞田川・桜通り・宝野公園など桜の名所が多い
- 聖蹟桜ヶ丘の地名の由来など、歴史的背景を商品ストーリーとして語る



多摩市 = 桜



永山さくら通り

2014/4/4

## 具体的な商品案

- サクラスク、桜ロールケーキ、多摩カステラ、かりんとう、せんべいなど
- 多摩市産の原材料を使いたい！
- 桜の形もしくは桜をイメージできるもの

試作品を  
東京多摩調理製菓専門学校様に依頼



## 「桜ポルボン」完成！

「桜ポルボン」販売開始



## まとめ

- 多摩市民に多摩大学のことを知ってもらうことができた
- T-studioの公開講座をはじめ、ほかにも食堂など前よりも多くの多摩市の人たちを呼ぶことができた

ご清聴ありがとうございました

久恒ゼミ 大学広報班

# 小豆島醤油産業研究について

奥山ゼミ

## ○メンバー

3年 宮崎大地 伊藤捺夢 川端徳昭

2年 伊藤悠希 佐藤寿希



## 小豆島プロフィール



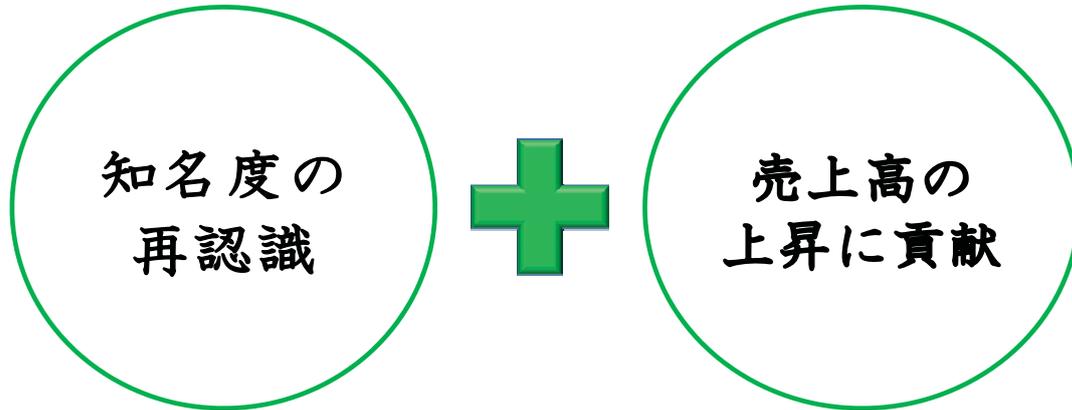
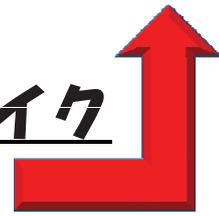
○小豆島は香川県に属する  
**瀬戸内海の島**である。

○小豆島町の主な産業は  
**「醤油、佃煮、素麺」**などの  
食品産業が中心であり、  
**オリーブ製品**の製造業も盛んです。

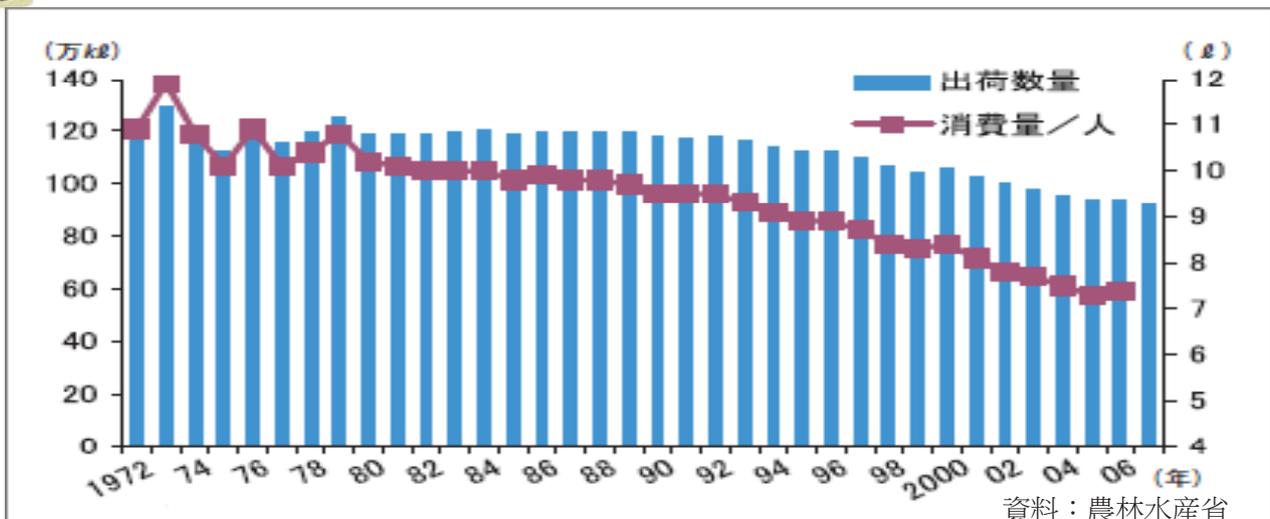


## 活動目的

# 小豆島の醤油産業の最フレイク



## 全国の醤油産業の現状



しょうゆの全国出荷量は、1973年の129万キロリットルをピークに、その後徐々に減少し、2007年には92万キロリットルにまで落込んだ。同様に1人当たりのしょうゆ消費量は1973年には11.9リットルあったものが年々減少し、2006年には7.4リットルとなっている。





FW①(春)

「金ゼミ合同で小豆島醤油産業のフィールドワーク」



FW②(夏)

醤油産業



製造業(素麺)





## 小豆島醤油企業（マルキン醤油）

国の有形文化財に指定された合掌造りの建物で醤油の製造を行う。



100年以上の歴史がある醤油蔵を使い一年をかけてじっくりと醤油を発行・熟成させている。

醤油ソフトクリームや専用醤油の販売を行い、醤油が完成するまでの工程や歴史を知ることができる記念館がある。



## 小豆島醤油企業（ヤマロク醤油）



ヤマロク醤油は創業からの正確な記録が残っておらず、

創業大体150年くらいだといわれている。現在では珍しい工場での製造ではなく蔵での製造に力を入れています。

製品は3種類の醤油や卵かけご飯専用の佃煮など、醤油に関する商品を生産販売しています。



## FW①②で感じたこと！

- 企業側も醤油を世の中に広めたいと考えていた。
- 醤油の他にも独自で開発した調味料を販売している企業もある。
- いろんな種類の醤油を製造、販売していて料理によって使い分けられると感じた。
- 良い醤油がたくさんあるのに、東京に知られていないことが多い！



## 提案

現在活用されていないWEBページの活用  
ネット販売、活動報告act・・・



関東での広告イベント活動

小豆島醤油を首都圏の若者に知ってもらい、  
醤油の概念を覆す！

## 多摩グリーンライフプロジェクト 2015

多摩大学経営情報学部梅澤ゼミ 3 年  
井上滉大 氏家侑也

### 1. グリーンライフプロジェクトの目的

本プロジェクトは多摩市の特徴である豊かな自然・緑を活用し、世代を超えて人と人を結びつける仕組みづくりを行うこと、幅広い世代の方に緑や自然の大切さを伝えること。イベントなど親子で体験してもらうことで親子の絆を深め合うきっかけ作り、グリーンライフセンターを知ってもらい日常的に利用してもらうことが目的である。

### 2. ガーデンシティ多摩センターこどもまつり 2015

私たちは一本杉公園みどりの会の方々と、梅澤ゼミグリーンライフプロジェクトが連携して準備段階から企画・運営を行った。竹細工(竹馬・竹ポックリ・竹笛・竹水鉄砲)に加え、来て下さった子供たちに折り紙で作った兜・コスモスを配ったことで参加費を頂いたかひと目で把握することができた。受付コーナーが昨年よりもスムーズに進むことができた。

結果、参加者 405 名、参加費 39,350 円

竹馬 50 個・竹水鉄砲 72 個・竹ぽっくり 116 個・竹笛 255 個・竹とんぼ 85 個

### 3. 出張ウッドクラフト講座

このイベントは梅澤ゼミの出し物の一つとして 2013 年度から始まったイベントである。多摩市グリーンライフセンターこどもまつり以外での活動の場を広げようと、梅澤ゼミの他プロジェクト(近隣交流七輪PJ)のイベントの一つとして参加した事が始まりである。

ウッドクラフト講座ではウッドクラフトの配布だけではなく、実際にイベントに来て頂いたお客様にも作製を楽しんで頂いた。客層は主に 5~12 歳の子ども(親子連れ)を中心とし、子ども達にも手作りの楽しさを伝えることを目的としたイベント。材料は松ぽっくりや木の枝、ビーズ、モール、色のついたゴムを使用し飾りを作成。

結果、参加者工作合計 46 個

### 4. ドングリ講座

本講座は子供たちに講座を通じて、工作の楽しさ、そして技術継承を促す・多摩市の豊かな自然を活用し、自然の大切さに気づいてもらえる活動にすること。さらに、グリーンライフセンターを知ってもらい日ごろ活用してもらうようにする。今年度は新たに、子供

達の発想力・想像力を高め、親子の仲をよりよくする講座である。幅広い世代の地域住民の交流だけではなく子どもと親との交流に繋がると考えた。この講座は今後も新たな地域、世代間交流として役立てることができると考えている。こうした講座は、こどもだけではなく親子での参加を促すことが大切である。

## 5. ハロウィン in 多摩センター2015

本イベントは多摩センターで行われているハロウィンイベントの催しの一つとして行われている。恵泉女学園の恵話会と多摩大学梅澤ゼミの共同企画として活動した。企画内容は、お菓子の配布とハロウィンに関連した催し物である。通路確保のためのスタッフを配置。今年度はスタッフ人数が少ないため、学生は催し物に力を入れた。また、仮装をしたことで子供たちは大いに喜んでいて。

イベントの目的としては、グリーンライブセンターの知名度を上げること、イベントに足を運んで頂いた来場者の方に、イベント以外でも足を運んで頂き、日常的にグリーンライブセンターを使用して頂けるような流れをつくること。

## 6. 外部評価

佐藤 堅太郎様

どんぐり工作は、本年度で4回目にあたり内容も充実、参加者も満足に近い感覚を得ているが、今後の展開については今の講習内容でいいのか常に反省しつつ、多摩地区でのドングリ、緑の活動について幅広く情報収集に努め伝えるべき知識の向上を多摩大学生とともに測っていききたい。

## 7. 今年度の振り返り

経営情報学部として、資金の把握をすべきであった為、第1回目の打ち合わせから予算を把握し行動すべき。プロジェクトメンバー内で議論を行う時間が足りなかったため、打ち合わせを行う前にプロジェクトメンバーを集める。開催イベントの打ち合わせや構成などで時間が取られ緑の大切さや多摩市の情報を集めることが出来ていなかったため、本やインターネットを活用し情報を集める。

## 多摩グリーンライフプロジェクトⅡ - 多摩市みどりのルネッサンス -

多摩大学経営情報学部梅澤ゼミ 2 年

○ 一 拓哉 高橋 慶 田中英治 西澤良太 永井敦也 山口正春

### 1. プロジェクトの経緯と目的

#### (1) 活動の経緯

昨年度、多摩市はこれからの取り組みとなる「多摩市みどりのルネッサンス」が完成し、今秋、キックオフとなる「多摩市みどりのルネッサンスシンポジウム」を中心にさまざまなイベントを実施することになった。私たちがお世話になっている多摩市グリーンライフセンター（以下、多摩市 GLC と略する）も設立 25 周年となる。

そこで、今年度、私たち多摩グリーンライフプロジェクト（以下、多摩 GLPJ と略する）は、多摩 GLPJ の中に、新たに「みどりのルネッサンスプロジェクトチーム」を立ち上げ、シンポジウムの企画運営段階から関わらせていただき勉強をさせてもらうことになった。

イベントそのものは展示も含め 9 月 22 日（火：祝日）から 26 日（土）まで 5 日間にわたるものであったが、私たちは 26 日（土）に行われた「多摩市みどりのルネッサンスシンポジウム」において、①近年の環境問題、みどりのルネッサンスの意味、地域で自発的に活動されている団体の紹介、②その拠点であるグリーンライフセンター 25 年の歩み、③今後の多摩市の展望といった 3 つのスライドを制作することになった。

#### (2) 活動の目的

今回のスライドショー作成にあたって、私たちは市民の方々に身近なみどりにもっと楽しく関わっていただけるような気づきと関心を持ってもらえるようになる活動を目標とした。地域の方々にもっとみどりに関わっていただくことは勿論のこと、みどりを通して地域の方々のふれあいを築いていくことが私たちの目的である。これからもみどりが豊かな街「多摩市」だからこそできる活動を行っていききたい。

### 2. 多摩のみどりの現状

多摩市には、多様な公園緑地がたくさんある。みどり豊かなまちで、市民の皆様のみどりに対する満足度は 27 年連続で 90%以上と、他都市に例をみない非常に高い数値を有している。またこのみどりは、ニュータウン開発による計画的な緑地や公園を含め、存在効用と利用効用の両面にわたる総合的なみどりの体系をつくりだしている。また、創出されたみどりと昔ながらの里山の面影を残すみどりが、つながりを持っていることが大きな特徴である。そのような価値がありながら、市民は偉大なるみどりを知らず暮らしている。

木にはたくさんの効果があり、木の香りにより血圧が下がるなどリラックス効果も証明されています。また、自然による近隣交流もあり、人と人を結ぶ大切な役割を果たしているのです（利点）。しかし、みどりが増えすぎ、管理が追いついていけず木を伐採するのにもお金がかかる（市民の税金）。みどりが多きことで、交通・防犯の面で見通しが悪くなっている場所があることも問題となっている。

### 3. みどりのルネッサンスとは シンポジウムの目的

#### (1) みどりのルネッサンスとは

多摩市のみどりは多摩ニュータウン開発などにより、新たに創出や再生されたみどりと、昔ながらの多摩丘陵の里山的風景を感じさせるみどりがつながりをもっていることが大きな特徴となっている。それぞれの地域に応じたみどりの利用や活用方法などを話し合い、多様な意見の人々が互いに理解し合いながらみどりに関わり、多摩市の豊かなみどりを資産として活用していくための取り組みである。

#### (2) シンポジウムの目的

市民の方々とともに身近な公園緑地の在り方や関わり方を考え、公園緑地の積極的な関わりを通じて緑の質を高め持続的な緑を実現するための道筋を作り上げていく運動を進めいくことを目的としている。

### 4. 「多摩市みどりのルネッサンスチーム」の活動報告

私たちは、シンポジウムのオープニング、第二部、エンディングのスライドショーを制作した。

#### (1) オープニングスライドショー 制作者：田中英治・山口正春

オープニングは、シンポジウムのスタートを印象付ける非常に責任のあるスライドショーである。全体を温かみのあるシンポジウムにしたいという市側の意向を自分たちなりに考えメルヘン調にした。また、ニュースでは地球温暖化や自然災害が話題となっていたので、環境に対する関心も持ってもらえるような物語を考えた。

始めは、みどりのルネッサンスを行う意味や、「愛でるみどりから関わるみどりへ」というテーマでスタートし、みどりへ関わって頂いている市民ボランティア団体の方々を日頃の感謝を込めて紹介させていただいた。工夫点はみどりを伝えつつスライドを見やすくするためメルヘン調にしたことである。

#### (2) 第二部「多摩市グリーンライブセンター25年の歩み」制作者：西澤良太・永井敦也

第二部はグリーンライブセンターの成り立ちから現状、そして活動を制作した。開設当初のグリーンライブセンターから現在のグリーンライブセンターにいたる変遷、講座やガーデンを成り立ちに沿って紹介した。グリーンライブセンターとの比較画像を公開する等、

思い出や成果を市民の方々と共有した。昔のグリーンライブセンターの背景を灰色に、現在のグリーンライブセンターの背景をみどりにすることで昔と今の区別をつけた。

### (3) エンディング 制作者：高橋 慶・一 拓哉

エンディングはまとめの部になる。シンポジウム終りに多摩市役所の方々にご相談しながら、これからの多摩市のみどりのあり方や多摩市グリーンライブセンターの未来を描くスライドショーを制作した。デザインは、みずみずしく、みどりを前面に押し出したデザインとなっている。

## 5. 今年の活動成果、連携先の方々の外部評価

### (1) 活動成果

活動を通してみどりの大切さや、人との関わりの大切さを学んだ。みどりが人と人を繋げることの素晴らしさを感じ、そして人と人が出会い経験していくことで成長していくのだと活動を元に改めて感じた。また、PPTを通して市民の方々にボランティアの皆様のおかげで、多摩市にある多くのみどりの大切さを伝えることができ目的を果たすことが出来たと考えている。



多摩市職員の方との数回にわたる打合せを重ね準備を進めた。

### (2) 連携先の方々の外部評価

シンポジウムのプログラム内容が具体的に決まらない状態で、やっと概要が決まった7月から、シンポジウムでのプログラム1部のオープニング映像、2部でのグリーンライブセンターのナレーション映像、そして3部ではエンディング映像と開催当日まで時間の無い中で、公園緑地課とのミーティングや関係者とのヒアリングを行いながら、公園緑地課の意向に沿う内容のスライドショーを制作したことに高い評価をいただいた。

今回のシンポジウムのアンケートでは、オープニングとエンディングの映像と音楽が良かったと10%の方が回答を寄せ下さった。シンポジウム全体の内容が分かりやすかったという回答が78%となっている結果からも、手作りのスライドショーを組み込んだ本プログラム構成が多分にこの結果に寄与しているものとお言葉を頂くことができた。

## 6. 次年度に向けての課題

今回は多摩市のイベントで集客は私たちの役割ではなかったが、PPT制作で手一杯であったことが今回の反省点である。学生ならではの発想、行動をおこしていくことでもっと多くの人々を集め、そして更に多くの方々と関わることができたと思う。人と関わることの大切さを知った今、さらに多くの人々と関わることで学び、成長させていきたいと思っている。

また、メンバー内での連絡面で課題があった。滞りが原因で物事が上手く進まない時があった。一人の怠りでメンバー全員に迷惑をかけてしまうことになる。社会に出ればその会社自体に影響がでてしまう可能性もある。その為、メンバー全員が声掛けをするなど様々な対処をしていくことで、よりクオリティを高くしていけるように工夫をしていきたいと思った。

#### 謝辞

今年度、2年の私たちにこのような機会を与えてくださった多摩市公園緑地課職員の皆さま、多摩市グリーンライブセンター、恵泉女子大学の皆様に大変お世話になりました。また、スライドショーで共演させていただきました森のシンガーソングライター山田証さん、ありがとうございました。



シンポジウムにご登壇された涌井みどりのあり方懇談会会長、阿部多摩市長、司会の大石さん、オープニングとエンディングのスライドショーで共演させていただいた森のシンガーソングライター山田証さんと。

奥山ゼミ

# 小豆島観光開発計画

3年 村木 一美  
山浦 翼

2年 数野 徹  
佐藤 朱音  
田中 杏樹  
二宮 悠輝

## 小豆島とは

香川県小豆郡に属する瀬戸内海に浮かぶ島  
高松港からフェリーで1時間ほど  
二十四の瞳の舞台として知られる。

人口：14,942人

世帯数：6,590世帯（2015年11月現在）

※小豆島町HP参照

主な産業

オリーブ・醤油・佃煮など



# 何故、小豆島なのか。

多摩大学では、2015年度より小豆島ヘルシーランド株式会社と包括協定を結び、ヘルシーランド社の施設を、多摩大学専用セミナーハウスとして使用することが可能になった。



## ヘルシーランド株式会社とは

「心と体の健康を追求し、小豆島の発展に寄与」すること。  
300年続くオリーブの森を作るため、オリーブと共に小豆島の街を守る。

小豆島の資源を活かした新たな事業→**地域磨き**

### オリーブ事業

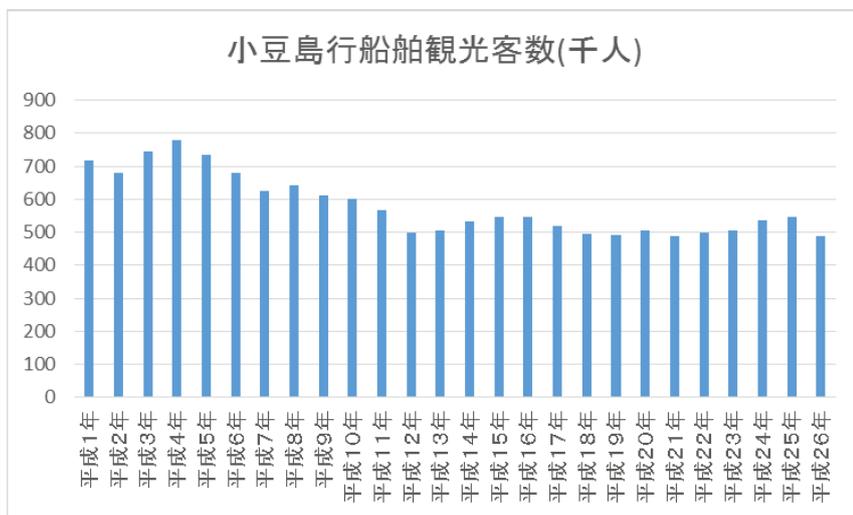
オリーブの事業  
オリーブ化粧品の製造・販売  
オリーブ健康食品の製造・販売



### 地域磨き



# 小豆島の観光の現状



## 観光客の動向

- h.4加藤汽船が大阪～土庄フェリー開始
- h.7関西汽船の阪神～小豆島廃止→季節便
- h.23神戸～小豆島フェリー復活
- h.22瀬戸内国際芸術祭開始

# 瀬戸内国際芸術祭

小豆島の取り組み

2010年から3年に一度開催されている

**前回(2013年)の経済効果**

観光を目的とした来島者数→**20万人**  
 芸術祭を目的の一つとした→**7万人**  
 芸術祭のみを目的とした→**4万人**



**約17.3億円の経済効果**



## 小豆島の課題と取り組み



「オリーブ」の島として知名度は高いものの、  
観光地として見られていない面がある

観光スポットによっては距離・高低差があり、自動車での移動は必須

雨天時に楽しむことのできる観光スポットが少ない

島の少子高齢化も加速しており、伝統芸能などでは後継者不足が課題

## 私たちの提案



雨天の場合に観光客が楽しむことができる観光スポットの確立  
→美術館や体験型施設など

小豆島の魅力を発信  
→特に若い人に向けた情報発信を

オリーブ・醤油・そうめんを活用した新規性のある名物を

滞在型・リゾート型の観光スタイルの導入を

## 多摩大学樋口ゼミの活動

2009年4月多摩大学教授樋口裕一の下に発足。それ以来、日本を代表する作曲家・演奏家や若手演奏家に協力をいただいて、パルテノン多摩、HAKUJU HALL、永山公民館ベルブホール、関戸公民館ヴィータホール、からきだ菖蒲館、多摩大学構内などでコンサートを企画運営してきました。また、2014年からは古典落語などの企画運営も行っています。

これまで出演や協力をお願いしたかたがた

- ・作曲家 三枝成彰・葉加瀬太郎・笠松泰洋・関向弥生
- ・指揮者 今村能
- ・ピアニスト 岡田博美・菊池洋子・新居由佳梨・村田千晶・大石敬・久保山菜摘
- ・ヴァイオリスト 戸田弥生・葉加瀬太郎・佐藤俊介・内田沙理・江島有希子・犬嶋仁美・本田佳奈  
石井花菜美・河合佑華・山口豊
- ・ヴィオラニスト 伊藤瑛紀・上田朝子
- ・チェリスト 山本裕康・松本亜優・福原明音・永富さおり
- ・ソプラノ 飯田みち代・三宅理恵・森美代子・岸七美子・田中樹里・松島理紗
- ・ギタリスト 松尾俊介

そのほか、池田里奈・安藤与夢（フルート）、廣田美柚（オーボエ）、喜多見倫子（クラリネット）、三田浩洋（ファゴット）、森尾楓（ホルン）、フィルハーモニア多摩、そして、落語家の鈴々舎八ゑ馬、柳家喬の字、漫才のぐりんぱ、ランバカランの皆様に協力をいただきました。

**樋口裕一・略歴** 1951年大分県生まれ。多摩大学経営情報学部教授。250万部のベストセラーになった『頭がいい人、悪い人の話し方』や『ホンモノの文章力』『読むだけ小論文』などのほか250冊を超す著書がある。『頭がよくなるクラシック』『音楽で人は輝く』『ヴァーグナー 西洋近代の黄昏』『ときめきのクラシック』などの音楽関係の著書も多い。ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン（『熱狂の日音楽祭』）のアンバサダーを務めた。

## 樋口ゼミ学生

鹿住零・有城孝賢・大岩邦充・松下亜樹・松瀬慶徳・森澤佳介・吉越千紘・和田夏帆・池田陽香・江川知秀・小寺涼太・神林祥太・私市洋人・矢治良太郎

## 樋口ゼミの活動のすべて

・2009年4月 多摩大学樋口ゼミ発足。

・2009年6月26日、多摩大学内にて、新居由佳梨（ピアノ）と江島有希子（ヴァイオリン）を招いて「あらえじ・カンタービレ」。ベートーヴェン「春」などを演奏。

・2009年9月18日、多摩大学にて、日本を代表する作曲家の三枝成彰氏を招いて演奏会を運営。日本を代表するチェリスト山本裕康、新居由佳梨により三枝成彰の作品「チェロのためのレクイエム」改定版を日本初演。バッハ、リストなどの有名曲を演奏。

・2009年11月10日、パルテノン多摩大ホールで、世界的な若手のホープ佐藤俊介（ヴァイオリン）と菊池洋子（ピアノ）により多摩大学20周年記念コンサートを運営。曲目は、フランクのヴァイオリン・ソナタ、ラヴェルの「ツィガーヌ」など。ゼミ活動が多摩テレビでも紹介された。

・2010年8月25日、新居由佳梨（ピアノ）、江島有希子（ヴァイオリン）、三宅理恵（ソプラノ）を招いて、渋谷区のHAKUJU HALLで「音楽の宅急便」と題したコンサートを主催。ジブリの曲のほか、サン・サーンス、シューベルト、ベートーヴェンのソナタや歌曲を演奏。

・2011年4月8日、若手コロラトゥーラ・ソプラノのホープ森美代子、フィルハーモニア多摩音楽監督の今村能、多摩フィルメンバーを招いて、パルテノン多摩小ホールにて「多摩音楽祭前夜祭、フィルハーモニア多摩、室内楽第一回定期演奏会」を運営。

・2011年7月1日、パルテノン多摩小ホールにて、フィルハーモニア多摩の金管楽器のメンバーのコンサートを主催。曲目はサン・サーンスの「動物の謝肉祭」など。

・2011年10月21日、フィルハーモニア多摩の木管楽器のメンバーによる「星空の窓辺から」と題したコンサートを稲城！プラザにてフィルハーモニア多摩と共同開催。演奏曲目は、モーツァルト「ナハトムジーク」、メンデルスゾーン「真夏の夜の夢」など。

・2011年12月17日、九段の寺島文庫ビル「みねるばの森」にて樋口ゼミ卒業生による卒業制作コンサート。森美代子のソプラノ、松尾俊介のギターの名曲を演奏。

・2012年5月26日、唐木田菖蒲館ホールにて、「映画に用いられた音楽」を中心としたコンサートを主催。桐朋学園大学の三人の有望な女性演奏家、久保山菜摘（ピアノ）、犬嶋仁美（ヴァイオリン）、松本亜優（チェロ）を招いて、親しみやすい名曲を演奏。

・2012年10月10日 永山駅前第5回永山学園祭を企画。安藤与夢（フルート）、廣田美柚（オーボエ）、喜多見倫子（クラリネット）、三田浩洋（ファゴット）、森尾楓（ホルン）による野外ミニコンサート。編曲は関向弥生。

・2013年1月9日 九段の寺島文庫ビル「みねるばの森」にて樋口ゼミ卒業生による卒業制作コンサート。日本を代表するソプラノ歌手・飯田みち代と作曲家、笠松泰洋のシンセサイザーで、オペラや歌曲、笠松自身の曲を演奏。

・2013年2月3日 永山バルブホールにて森美代子のソプラノ、松尾俊介のギターで、

ソプラノやギターソロの名曲を演奏。

・2013年2月9日～6月22日 九段下の寺島文庫カフェ、みねるばの森で日本を代表するチェリスト・山本裕康によるバッハの無伴奏チェロ組曲全曲演奏。

・2013年2月16日多摩市にある唐木田菖蒲館（唐木田コミュニティセンター）で桐朋学園大学の学生である三人の有望な女性演奏家、久保山菜摘（ピアノ）、犬嶋仁美（ヴァイオリン）、松本亜優（チェロ）により親しみやすいクラシック作品。

・2013年6月21日、関戸公民館ヴィータホールで、「TAMA女と男がともに生きるフェスティバル2013」に協力。久保山菜摘（ピアノ）、犬嶋仁美（ヴァイオリン）、松本亜優（チェロ）、松島理紗（ソプラノ）

・2013年9月29日、多摩大学のオープンキャンパスにて日本を代表するピアニスト・岡田博美によるリサイタル。シューマン「森の情景」、リスト「リゴレット・パラフレーズ」、リゴレット編曲「タンホイザー序曲」などを演奏。

・2013年12月23日 多摩大学クリスマスパーティにて多摩大在籍経験のあるヴァイオリニスト山口豊と大石啓（ピアノ）によるクラシックの名曲を演奏。

・2014年4月22日、多摩大学内にて葉加瀬太郎チャリティコンサート。「情熱大陸」「エトピリカ」「ひまわり」などのオリジナル曲のほか、クライスラー「序奏とアレグロ」、マスネ「タイースの瞑想曲」などを演奏。

・2014年6月27日、多摩市の関戸公民館ヴィータホールで、「TAMA女と男がともに生きるフェスティバル2014」に協力。久保山菜摘（ピアノ）、犬嶋仁美（ヴァイオリン）、松本亜優（チェロ）、松島理紗（ソプラノ）。サンサーンス「序奏とロンド・カブリチオーソ」、ポッパー「ハンガリアン・ラプソディ」

・2014年10月4日、12月13日。寺島文庫 café みねるばの森にて、日本を代表するヴァイオリニスト戸田弥生によるバッハの無伴奏ソナタ・パルティータ連続演奏会。

・2014年10月23日、多摩大学内にて「多摩大寄席」開催。出演は鈴々舎八ゑ馬 柳家喬の字 ぐりんば。ランバカラン。

・2014年11月29日、多摩大学内で多摩大学25周年記念コンサート。岸七美子（ソプラノ）、松尾俊介（ギター）。日本歌曲のほか、「こうもり」からアデーレのアリア、ドニゼッティ「ジプシー女」、ソル「魔笛による変奏曲」など。

・2015年6月18日、多摩大学内で新居由佳梨によるピアノリサイタル。「踊り」と「木移設」をテーマに。ラヴェル「ラ・ヴァルス」などが演奏された。

・2015年6月27日、関戸公民館ヴィータホール「TAMA女と男がともに生きるフェスティバル2015」の一環として樋口ゼミ協力による演奏会。出演は田中樹里(ソプラノ)、村田千晶(ピアノ)、内田沙理(ヴァイオリン)、池田里奈(フルート)。

・2015年11月7日、九段にある寺島文庫 Café みねるばの森にて松尾俊介ギター・リサイタル。バッハ「リュート組曲第2番」「シャコンヌ」、ディアンスの名曲。

ミューズ  
音楽の女神が舞う！

～新居由佳梨

ピアノリサイタル～

◆公演情報：

6月18日（木）16時30分～17時40分

多摩大学 101 教室にて

◆料金：無料

◆曲目

ショパン：エチュード第一番 op.10-1

ショパン：雨だれの前奏曲

ドビュッシー：西風の見たもの

ドビュッシー：雪は踊っている

ドビュッシー：月の光

ラヴェル：ソネチネより第3楽章

♪ pause ♪

ラモー：タンブーラン

バッハ：フランス組曲より

「アルマンド」「サラバンド」

チャイコフスキー：くるみ割り人形

より「トレパーク」

ショパン：英雄ポロネーズ

ラヴェル：ラ・ヴァルス



## 新居 由佳梨 | ピアニスト

東京藝術大学、同大学院修士課程を経て、スイス国立ジュネーヴ音楽院(ソリストディプロム取得)を修了。留学中、パリでのショパン・フェスティヴァルなどの音楽祭やリサイタルシリーズに出演、オーケストラと共演。第7回イタリア・モノポリ国際ピアノコンクール第3位(併せてアジア人賞)などコンクールでの受賞多数。

日本では、スタインウェイ・ジャパン(株)による Young Virtuoso Series、旧東京音楽学校奏楽堂デビューコンサートシリーズ、ホロヴィッツのピアノ(No.314503)による記念コンサート、ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポンへの出演など、幅広く活躍。シャネル(株)「Pygmalion Days」シリーズ07年度アーティスト。(財)地域創造「公共ホール音楽活性化事業」2012・13年度登録アーティスト。



© ミューズエンターテインメント

2009年3月に伝説のヴァイオリニスト、イダ・ヘンデル氏との共演CDリリースや、コルトー音楽祭でのオリヴィエ・シャルリエ氏との共演の他、国内外の著名な器楽奏者との録音・共演も数多く、安定感ある技巧と細やかな心配りで室内楽奏者としても厚い信頼を寄せられている。日本音楽コンクールで特別賞(共演賞[ヴァイオリン部門])を2度受賞。

ソロデビューCD「メランコリー」(スタインウェイレーベル)は毎日新聞紙上の“今月の3枚”に選ばれ、2013年には渾身の自主企画「ラヴェル ピアノシリーズ」をスタートし、ソニー・ミュージックダイレクト/ミューズエンターテインメントから「透明な風～ラヴェル ピアノ名曲集」をリリース。

ピアノを上野敬子、田中修二、渡辺健二、故ハリーナ・チェルニー=ステファンスカ、ドミニク・メルレの各氏に、室内楽を漆原啓子、本荘玲子の各氏に師事。東京藝大伴奏助手(07~09年度:弦楽器科/10~12年度:管楽器科)および洗足学園音大ピアノ科非常勤講師。

スタインウェイ・アーティスト。

# 多摩学

## 「多摩学」とは

「多摩学」とは、多摩の来歴を探り、多摩の現代について考え、多摩という視点から未来を構想する学問です。多摩川と相模川に挟まれた地域を広義の「多摩」として、その地歴を探り、この地域の持つ意味と可能性を多角的・学際的に探求していきます。

多摩大学では、講義科目として「多摩学」を展開しているほか、社会人、大学院生、両学部生が参加するインターゼミ（「社会学研究会」）でも多摩学研究を推進しています。



多摩大鳥瞰図絵

## インターゼミ「多摩学」研究 2014年度までの成果

2009年度：多摩ニュータウンの再生

2010年度：多摩川、民話、市民農園、千人同心、絹織物

2011年度：中里介山・白洲次郎にみる新中間層の成り上がりと多摩地域の関係

2012年度：浦賀を中心に見た江戸幕府の対外貿易と海防

2013年度：三多摩壮士はなぜ生まれたのか～自由民権運動にみる多摩のDNA～

2014年度：2040年多摩の展望～50年に一度の交通革命をこえて～



インターゼミの様子

## インターゼミ「多摩学」研究 2015年度の取組

テーマ：多摩ニュータウン2.0～ニュータウン再生に向けた多摩版CCRCの可能性と提案～

多摩ニュータウンの役割の変化を踏まえ、新たな機能を備え、多摩ならではの「ニュータウン」として生まれ変わるための処方箋を示します。論文執筆に向け、文献を研究だけでなく、フィールドワークを積極的に実施しています。



高蔵寺ニュータウン（愛知県）を歩く



中部大学にて大学連携型CCRCの研究

# <社会工学研究> 多摩ニュータウン 2.0

## ～ニュータウン再生に向けた多摩版 CCRC の可能性と提案～

多摩大学インターゼミ 2015 多摩学班

### 【本研究の背景・目的】

背景：地域における高齢化の急速な進展（2020 年には高齢者 6 万人が住む町に）  
「定年迎えたベッドタウン」：区部からの人口流入の受け皿としての役割の終焉



### 研究の目的：

- ・多摩ニュータウンの役割の変化を踏まえ、新たな機能を備え、多摩ならではの「ニュータウン」として生まれ変わるための処方箋を示す
- ・高齢社会の進展の中、「総花的」な取組ではなく、高齢者の豊かさの充実に焦点を当てた提案を行う

### 【地歴からみる多摩ニュータウン】<第 1 章>

1. 大都市東京に近接した「ベッドタウン」として住宅に特化したまちづくり
2. 「一斉に 1 歳ずつ」歳をとる宿命
3. 「3DK」「階段なし」は時代遅れだが、膨大かつ密集度の高い住宅レガシー
4. 高学歴で知識・経験豊富な高齢者が多く在住

### 【問題意識】<第 2 章>

1. かつてのような「ベッドタウン」を取り戻すような再生ではない道の模索
2. 高齢社会の進展の中、「総花的」な取組ではなく、高齢者の豊かさの充実に焦点を当てた再生方向の検討

### 【CCRC を活用したニュータウン再生】<第 3 章>

※CCRCとは：健康時から介護・医療が必要となる時期まで継続的なケアや生活支援サービスを受けながら、生涯学習や社会活動等に参加する共同体

⇒多摩地域の特性を考慮した、多摩地域ならではの特徴をもったCCRCの構築

1. 在住高齢者なら誰でも参加できるオープンなCCRC
2. 高齢者が単なるサービス需要者ではなく、生産者としても役割を果たすCCRC
3. 既存のレガシーを活かして初期投資を抑え、安価に利用できるCCRC
4. 坂の多さを克服する交通システムを導入したCCRC
5. 高齢者産業の誘致機能を内包したCCRC
6. 産学連携型CCRC（交流から共同開発まで）



高齢者を軸に多世代が共生：「ベッドタウン」を超えた「ニュータウン 2.0」へ

### 具体的提案

**提案 1 【生きがいの雇用創出：ベッドタウンからワーキングシニアタウンへ】**  
CCRCに必要なサービスを高齢者自身が生み出す仕組みの構築<第 4 章>  
各種教室、料理、介護、保育、資産管理、コンサルタント・・・

**提案 2 【産業立地へと規制緩和し、高齢者産業を誘致】**  
高齢者のビッグデータ、高齢者サービス実証実験の先進地に <第 5 章>  
尾根幹沿い、空き校舎、空き住宅を活用、大学や行政が企業支援

**提案 3 【高齢者の健康づくり】** <第 6 章>  
予防医療、高齢者スポーツのメッカ。高齢者と学生とのスポーツ交流推進  
競技場の再構築、アクアブルー多摩の有効活用、地域サークルの活発化

**提案 4 【団地の多面的活用】** <第 7 章>  
団地を住宅以外にも活用し、必要最低限の生活が団地内で完結する仕組み  
介護度に応じた階配置、規制緩和で高層階を食堂、美容院、集会、娯楽などに

**提案 5 【交通システムの革新】** <第 8 章>  
介護度に合わせた交通システムの整備とシェア  
自動歩行アシスト（坂道対応）+自動対話、遠隔見守り、ビッグデータ収集  
階段の使用を極力回避、団地の駐車場を乗降ポイントにした公共交通網  
Uber を応用したオンデマンド交通システムなど ※各種交通用具はシェア

**提案 6 【CCRC の経済基盤】** <第 9 章>  
レガシー活用、シェアエコノミーの徹底、高齢者の集中による低コスト化  
ビッグデータの有料提供

**提案 7 【分譲型団地・住宅の「所有権」を「利用権」化】** <第 10 章>  
引越費用を含めた利用権化→ライフスタイルに応じた地域内での住み替え実現

**提案 8 【大学の役割～多摩大学を例に～】** <第 11 章>  
シニアが教養、ICT、経営、起業などを学べる生涯学習コースの検討  
高齢者、教員、学生が相互を web 上でマッチングする「学び合いシステム」  
産業向けビッグデータの分析サービス、高齢者向け事業の共同開発

# 琉球国と東アジア交流

## ～琉球史から探る沖縄の自立自尊と経済的自立～

2015年度インターゼミ アジアダイナミズム班(13名)

学部生(7):三好瑛太、三代ひろな、水口輝、田中爽貴、福里果央、上地慧、黄婉  
大学院生等(6):越田辰宏、中村晶子、塚原啓弘、高橋晋也、宮崎真、(梁燕碧)

1

### 目次

1. 研究概要
2. 研究の視点・目的 (問題意識)
3. 論文目次
4. 研究方法
5. 琉球関係史
6. 東アジア交流ネットワークと琉球貿易
7. フィールドワーク調査
8. 結論
9. 調査資料
10. 参考文献

2

## 1. 研究概要

### (1) これまでの共同研究

2008年「多摩大学留学生獲得戦略」

2009年「近代日本のアジア像」

2010年「日中韓の経済」

2011年「日中韓の人物交流」

2012年「日中韓の領土問題」

2013年「飛鳥寺」

2014年「江戸期の日中韓交流～朝鮮通信使の外交・文化的意味と現代的意義～」

### (2) 今回のテーマ

「琉球国と東アジア交流～琉球史から沖縄の経済的自立を考える～」

3

## 2. 研究の視点・目的（問題意識）

①琉球が日本と中国の狭間で、王国として存在し得たのはなぜか。

**歴史**は何を示唆しているか。「沖縄独立論」が出る背景は何か。

②独自の文化・歴史に誇りを持つ蓬莱の島・琉球国において、近世・近代の350年を中心とした長い射程距離で、沖縄の歴史を振り返り、「沖縄のあるべき姿」を問うという視点から、沖縄の自立自尊及び

**経済的自立**を踏まえた未来を考える。

③「ファジーに生き抜く知恵を蓄積してきた沖縄、歴史の渦に巻き込まれているようで、実はそれを切り返す逞しさを内在させる沖縄」(寺島実郎学長)といった**沖縄人の精神性**とは何か。

4

### 3. 論文目次

1. 序論(概要、目的)
2. 本論
  - 第1章 琉球王国の成立と沖縄-日中両属と平和主義
    - 1-1 琉球王国の成立過程と国際関係の変遷
    - 1-2 琉球王国と中国二大王朝との関係
    - 1-3 琉球と徳川幕府
    - 1-4 中国における琉球の帰属問題
  - 第2章 東アジア交流ネットワークと琉球貿易
    - 2-1 琉球と朝貢貿易
    - 2-2 日中交易と日韓交易
    - 2-3 交易と琉球文化
  - 第3章 琉球人の経済性と精神性
    - 3-1 琉球と沖縄のダイナミズム
    - 3-2 日本人と琉球人の物差しの違い
    - 3-3 琉球人と対馬人の生きる知恵
    - 3-4 万国津梁の精神とアジア空プロジェクト・マネジメント人材
3. FW結果と学生の感想
4. 結論 沖縄の自立自尊と経済的自立～琉球・沖縄900年の時代認識～  
-補足資料-
  1. 意識調査結果と分析
  2. ①年間スケジュール ②沖縄FWスケジュール ③歴史年表 ④グスク一覧
  3. 編集後記、謝辞、参考文献、活動記録資料

5

### 4. 研究方法

#### ○文献調査

先行研究を基盤に一次資料、二次資料による分析を行う。

#### ○フィールドワーク調査

沖縄県にて現地での調査を行う。サービスエンターテインメント班との合同調査を行った。

6

## 5. 近世琉球と徳川幕府

### ・幕府と琉球の最初の接点

1602年に琉球船が東北伊達領に漂着、非常に手厚い保護を命じる。

### ・幕府にとっての琉球王国の立ち位置

琉球は朝鮮出兵以降、関係の途絶えた明国との関係改善の仲介役を期待。

### ・琉球出兵の日本側の意図

明国と冊封関係にある琉球を管理下に置くことで実質的な日明貿易を実現させようとした。幕府は明の冊封体制下に入らずに貿易を行おうとしていた。

### ・琉球出兵後

島津氏(薩摩藩)の仕置を受けることになり、近世日本の国制において島津氏の「附庸」という形で徳川幕府に連なることになる。

7

## 5. 琉球出兵後の琉球王国

### ・同化と異国化政策

薩摩の仕置を受けることになり、最初は琉球国内独自の風俗や慣習が禁止されるが、その後は逆に日本的な風体にならないよう御触れがでた。

### ・同化政策からの方向転換

幕府は明国との直接の関係改善がうまくいかず、琉球には日本の一部ではなく異国の王国として存続してもらう必要があった。また、琉球側もこの構造を自立性の確保のために維持することを志向した。

### ・面従腹背

琉球側は一方的に従うだけでなく、国王の後継者問題などでは薩摩藩の指示を無視し、別の人物を即位させるなど、選択肢の限られた環境で琉球側の自主的な意思決定が存在していた。

8

## 5. 近世琉球と幕府の関係まとめ

### ・幕藩体制下の異国

琉球は薩摩の侵攻後、同化政策によって過去の風体に戻ることが禁止され、後に日明関係が進展せず、異化政策に切り替わる。

これは幕府側の事情ではあったが、結果的に幕藩体制下の異国という形で琉球は生き残るきっかけを得る。

### ・異国として自立性を確保

琉球の中国との関係強化は幕府と一定の距離を保つための線引きの意味もあり、幕府にとっても琉球を介した中国への接近のために望ましい行動だった。また後継者問題では自主的な対応も見せるなど面従腹背であった。

琉球出兵から明治の琉球処分まで270年もの間実効支配されながらも王国としての体裁を維持できたことは、環境の変化に翻弄されながらも、歴史の流れの中で着地点を見つける調整力やしなやかさがあったからだと感じる。

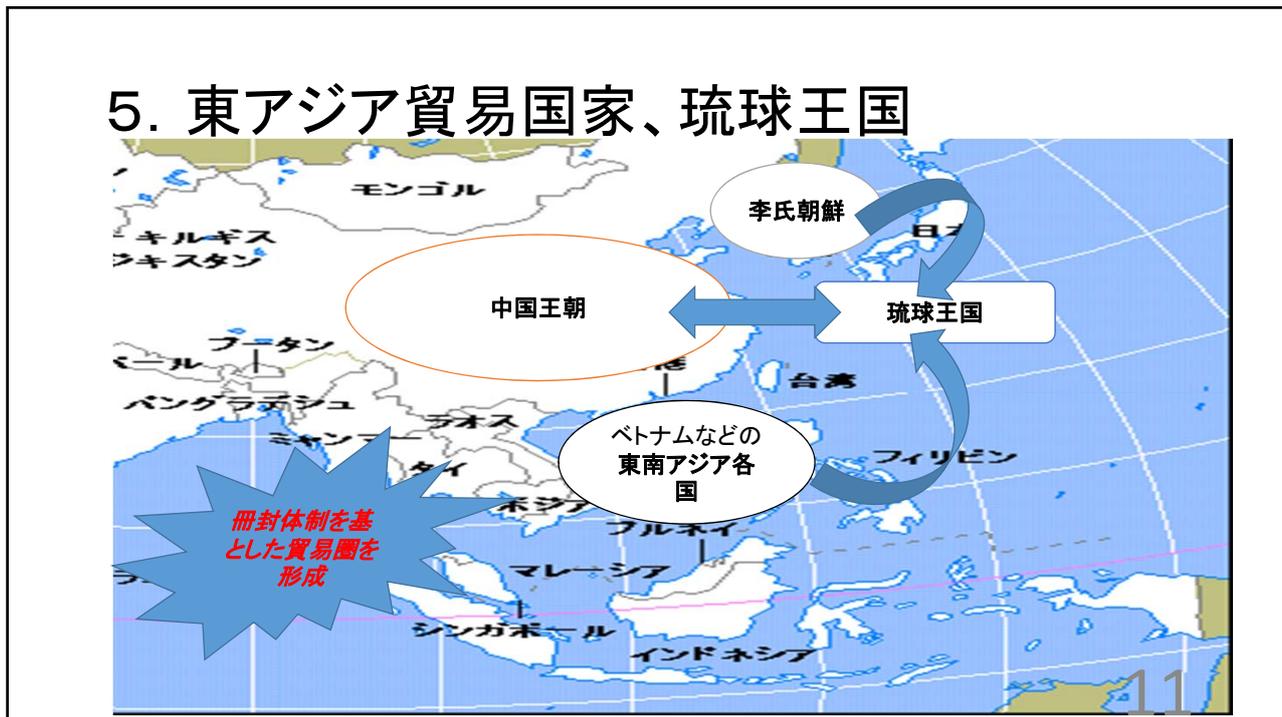
9

## 5. 中国と沖縄の沿革(中琉関係)

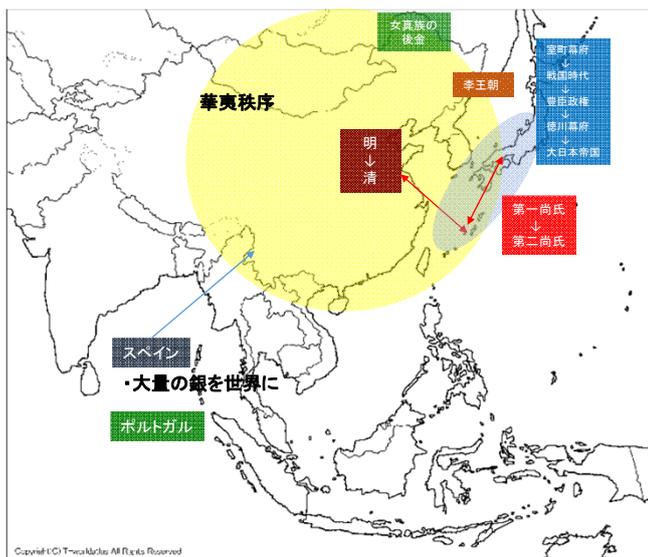
年代	中国	琉球
	<b>明王朝</b>	<b>三山時代</b>
1372年	中国と琉球の冊封関係始まる	
1429年		巴志により三山統一
		<b>琉球王国</b>
1613年	明→琉球:10年後まで朝貢一時中断	
1644年	<b>清朝成立</b>	尚賢、中国に対して使者を送る
1646年	琉球、清王朝に対して投誠を誓う	
1653年	正式に琉球が清の冊封体制化に組み込まれる	
1673年	「三藩の乱」発生	
1678年		接貢使の派遣開始
1879年		琉球国滅亡

10

## 5. 東アジア貿易国家、琉球王国



## 琉球国の国際関係—両属、繁栄、長き平和



### 第一尚氏時代 (1429-1469)

- 1429年 尚円志によって統一
- 五山の禪僧齊臨承統、6代目尚泰久王の帰依を受ける  
→「万国津梁之鐘」
- 15世紀、活発な貿易活動の展開

### 第二尚氏時代 (1469-1879)

- 明に進貢、室町幕府・交易関係
- 豊臣政権・「為与力其方江被相付候」
- 徳川幕府・薩摩藩による琉球仕置と、明との冊封関係
- 明治政府・琉球を沖縄県に

## 沖縄—近代から現代にかけて

**1872年** 琉球処分  
**1879年** 琉球藩廃止 沖縄県に  
 皇民化教育  
**1895年** 台湾 日本に統治  
**1899年** 沖縄初の海外移民(当山久三)  
**1902年** 第一次日英同盟  
**1905年** 第二次日英同盟  
**1911年** 第三次日英同盟(1923年8/17まで)  
**1914年** 第一次世界大戦勃発→大戦景気(日本)  
 沖縄で「砂糖成金」が表れる  
**1929年** 世界恐慌→昭和恐慌→沖縄「ソテツ地獄」  
 沖縄 1923年～30年にかけて海外移民が日本全体の約1割に  
**1937年** 盧溝橋事件→日中戦争へ  
**1941年** 太平洋戦争勃発  
**1945年** 沖縄戦(200,656名が戦死) 終戦 東西冷戦時代へ  
**1950年** 朝鮮戦争勃発  
 1950年初頭 祖国復帰運動が始まる  
**1960年** 沖縄県祖国復帰協議会の設立  
 日米安全保障条約の調印(新安保)  
**1970年** コザ暴動  
**1971年** ニクソンショック  
**1972年** 本土復帰 沖縄県に 日中国交正常化  
**1975年** ベトナム戦争終結(1960)  
**1989年** 冷戦の終結  
**1993年** 北朝鮮によるミサイル発射実験(98年、06年、09年・・・)  
**1995年** 少女強姦事件  
**1997年** 普天間飛行場の全面返還  
 辺野古への移設案通過  
**2001年** 911テロ、アフガニスタン紛争  
**2003年** イラク戦争勃発  
**2004年** 沖国大米軍ヘリ墜落事件  
**2009年** 鳩山内閣 移設案を再審議  
**2010年** 再び辺野古案に  
**2012年** 東京都が尖閣諸島の購入を計画  
**2014年** 翁長雄志が辺野古への移設を反対して知事に

13

## 6. 東アジア交流ネットワークと琉球貿易(経済的自立の観点から)

### 【琉球と朝貢貿易】

古くからアジア各国との交易が盛んであった。

⇒中国・朝鮮半島のみならず、タイ・ベトナムなどの東南アジア諸国。

中継貿易港として栄えていた“独立国”であった。

## 6. 東アジア交流ネットワークと琉球貿易（経済的自立の観点から）

【食文化・伝統芸能・人的資源】

琉球料理 <宮廷料理> <庶民料理>  
 首里城 一般庶民  
 ⇒ラフテー、ゴーヤチャンプルーなど

伝統芸能 <宮廷芸能> <民俗芸能>  
 おもてなし 地方の祭り  
 ⇒中国からの使者をもてなす歌や踊り

首里城を中心として、国をあげて厳かに執り行われた

15

## 6. 東アジア交流ネットワークと琉球貿易（経済的自立の観点から）

【国際貿易拠点（ハブ）としての沖縄】

沖縄県の経済的自立とは...（観光業以外で）  
 ⇒国際貿易拠点としての沖縄の可能性

世界最大のマーケットとなりつつあるアジア地域に対して  
 地政学的優位性を最大限に活かした沖縄の活用

企業の物流拠点誘致や、特区制度を用いた補助金  
 Ex) 株式会社ANA cargo

16

## 7. フィールドワーク調査(沖縄県)

1. 訪問地: 那覇市、辺野古、普天間等
2. 日程: 2015年8月16日(日)~18日(火)2泊3日
3. 内容:
  - ① 歴史(琉球国施設、グスク、基地)
  - ② 政治・社会(琉球大学、沖縄タイムス社)
  - ③ 経済・観光(名桜大学、パシフィックホテル沖縄)
4. 訪問先:
  - ① 那覇市: 首里城、沖縄タイムス社、国際通り等
  - ② 宜野湾市: 普天間基地周辺
  - ③ 名護市: 名桜大学、辺野古 ※現地ガイドによる説明、聞き取り

17

日付	時間	訪問先
8/16(日)	羽田 09:30 JL907 那覇 12:00  19:00頃	1. 台湾駐日経済文化代表処(名護市) 2. 普天間基地周辺  懇親会(沖縄料理)
8/17(月)	午前 昼 午後	1. 辺野古周辺 2. 名桜大学(観光)訪問 住江淳司先生、伊良皆先生 3. 中城城跡 4. 琉球大学(政治・社会)訪問 島袋純先生 5. パシフィックホテル支配人 「沖縄観光業について」
8/18(火)	9:30-11:00 14:00-15:15  那覇 18:30 JL918 羽田 20:55	那覇市内 1. 沖縄タイムス社訪問 常務挨拶、長元朝浩論説委員 2. 那覇市場巡り(平和通り、市場中央通り等) 3. 首里城コース(守礼門等)

18

## 7. 沖縄フィールドワーク : 2015年8月16日～18日

訪問地:

- 台北駐日経済文化代表処(台湾領事館)
- 普天間飛行場(嘉数高台公園)(かかずたかだいこうえん)
- 名桜大学
  - 住江敦司先生(付属図書館長)
  - 伊良皆啓先生(国際学群観光産業専攻長)
- 中城城跡(なかぐすくじょうあと)
- キャンプ・シュワブと辺野古の海
- 琉球大学
  - 島袋純先生(教育学部)
- 沖縄タイムズ社
  - 長元朝浩専任論説委員
- 首里城

19

## 歴史と文化の島:文化受容の精神

- ◆ 400年以上続いた琉球王国の面影を残し、最大の貿易相手国であった中国の文化をベースとして、薩摩藩の侵攻後の日本文化、米国統治時代の米国文化を受容しつつ変化してきた。



中城城跡



首里城



沖縄料理



20

## 基地の島：普天間飛行場から辺野古へ

- ◆ 沖縄本島をバスで走ると、すぐに基地の島であることが理解できる。
- ◆ 街の中の普天間飛行場にはオスプレイが配備され、美しい海には埋立計画が進む。



嘉数高台公園から見た普天間飛行場



キャンプシュワブ前の抗議運動

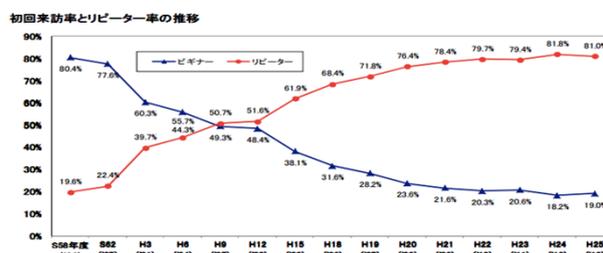
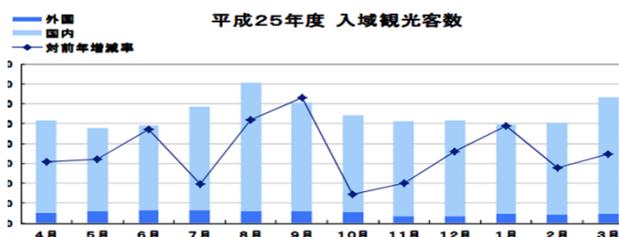


移転先の辺野古の海

21

## 観光の島：国外からの集客増が鍵

- ◆ 域内観光客数の内訳によると、ほとんどが国内客であることが見て取れる。
- ◆ 1998年以降、リピーター数が初回訪問客を超えたため、域内消費額が減少している。
- ◆ 今後は海外からの訪問者数を伸ばすことで、観光業の活性化を目指す。
- ◆ ホテル、観光バス、ガイドなどのインフラ拡充および、観光人材の育成が課題である。

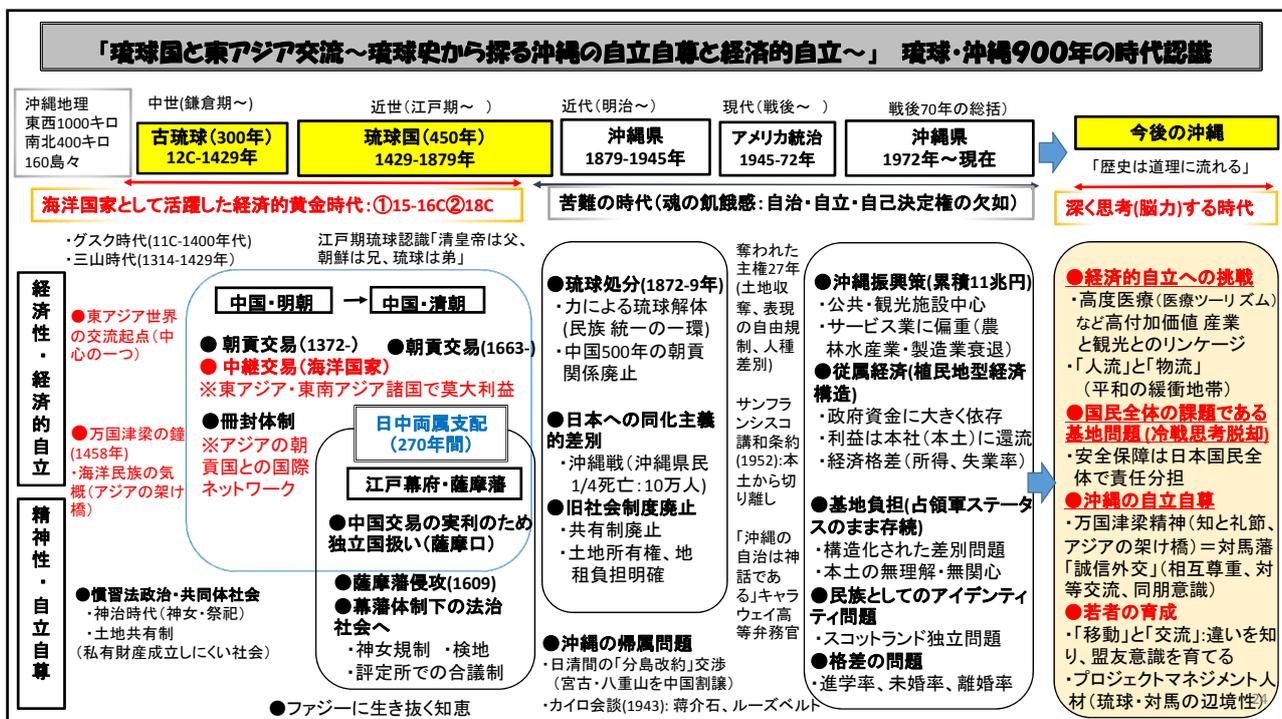


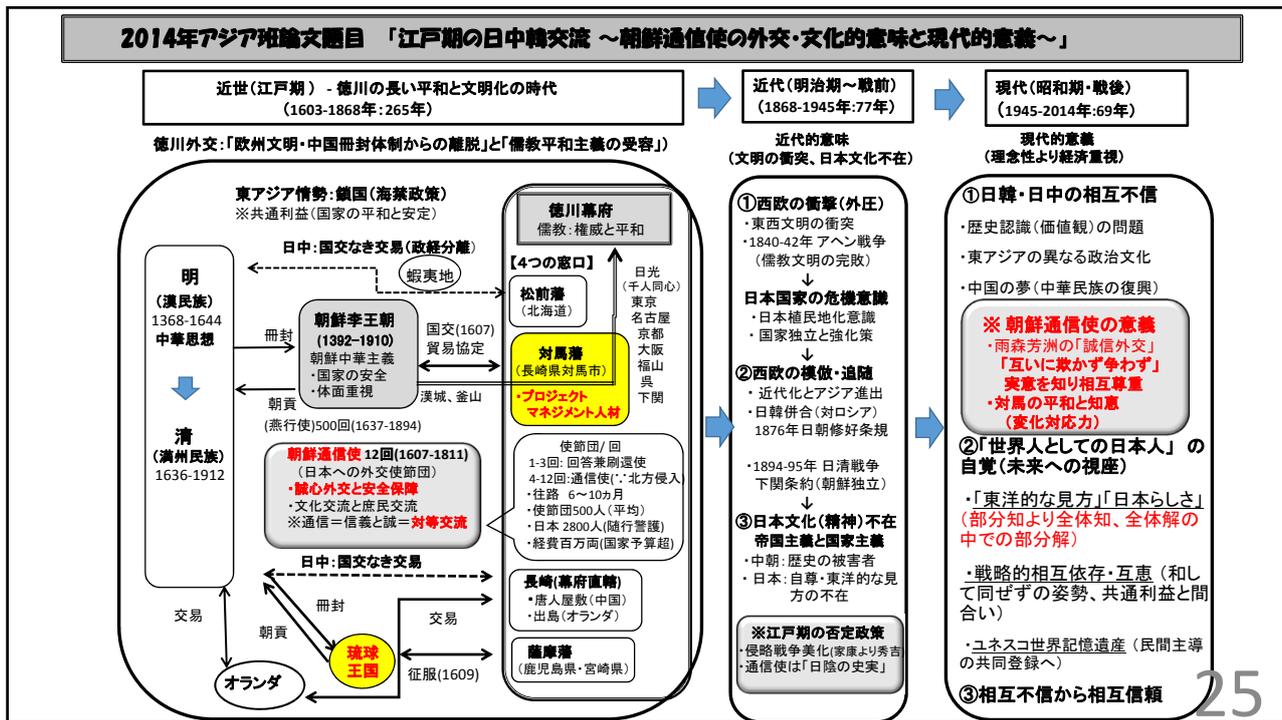
出展：平成25年沖縄観光要覧（沖縄県）Ⅱ 沖縄観光に関する統計・調査資料

22

# 8. 結論

23





## 研究活動とフィールドワークを通じた 学生の気づき

### ・水口 輝 米軍基地と離島

現在の沖縄のいたるところから米軍基地の影が覗かれた。それは、二度の沖縄訪問からいやがおうにも認識させられた。そして、この状態は異常な状態であるとも感じられる結果となった。

### ・福里果央(沖縄出身者) 沖縄の意志

沖縄の自立とは何なのか。我々は本土に沖縄の意志を伝えなければならない。蓬莱島と呼ばれた沖縄の思いを今、呼び覚ます。

### ・上地慧(沖縄出身者) 沖縄の声に耳を傾けよう

琉球王国と沖縄の経済的自立・自尊について学んだ。今の沖縄の基地問題について本土の人に伝えていきたい。



## 10. 参考文献

- 1 寺島実郎『脳力のレッスンⅢ、問いかけとしての戦後日本と日米同盟』  
・常識に還る意思と構想—日米同盟の再構築に向けて(2010年2月号)
- ・日米同盟は『進化』させねばならない—普天間迷走の総括と今後(2010年8月号)
- 2 寺島実郎『脳力のレッスンⅣ、リベラル再生の基軸』
- 3 宮里政玄『アメリカの沖縄政策』(ニライ社、1986年)
- 4 徐勝『徐勝の東アジア平和紀行 韓国、台湾、沖縄をめぐる』(かもがわ出版、2011年)
- 5 伊波普猷『古琉球』(岩波文庫、2000年)
- 6 外間守善『沖縄の歴史と文化』(中公新書、1986年)
- 7 高良倉吉『琉球王国』(岩波新書、1993年)
- 8 高良倉吉『アジアのなかの琉球王国』(吉川弘文館、1998年)
- 9 大久保潤・篠原章『沖縄の不都合な真実』(新潮新書、2015年)
- 10 太田昌秀・佐藤優『徹底討論・沖縄の未来』(芙蓉書房出版・2010年)
- 11 佐久田繁『琉球王国の歴史～大貿易時代から首里城明け渡しまで』(月刊沖縄社、1999年)
- 12 紙屋敦之『琉球と日本・中国』(山川出版社、2003年)
- 13 藤原良雄『別冊環 琉球文化圏とは何か』(藤原書店、2003年)
- 14 池上永一『テンベスト』(角川文庫、2010年)
- 15 宮台真司・仲村清司『これが沖縄の生きる道』(亜紀書房、2014年)
- 16 鳥越皓之『琉球国の滅亡とハワイ移民』(古川弘文館、2013年)
- 17 下川裕治・仲村清『新書 沖縄読本』(講談社、2011年)
- 18 仲村清司『本音の沖縄問題』(講談社、2012年)
- 19 松島泰勝『琉球独立論』(バジリコ、2014年)
- 20 ジョージ・H・カー(山口栄鉄訳)『沖縄 島人の歴史』(勉誠出版、2014年)
- 21 ベイジル・ホール(春名徹訳)『朝鮮・琉球航海記 1816年アマースト使節団とともに』(岩波文庫、2009年)
- 22 『明実録』、23 ベリー提督の報告書『日本遠征記』、24 『蒋介石日記』、25 大江健三郎『沖縄ノート』
- 23 『世界・4月号』(岩波書店、2015年) 江戸期の琉球国と東アジア、そして沖縄の今
- 24 『世界・5月号』(岩波書店、2015年) 沖縄はアジアと日本の架け橋となる一辺野古からアジアの平和構築を—

29

御清聴ありがとうございました

30



# コミュニティーラジオ局での 大学情報発信番組 制作出演

中村そのこゼミ 千野剛透 武内 峻



## 目次



- 0 ゼミ説明
- 1 FM西東京、こだいらMIXとは
- 2 ラジオを通して目指している所
- 3 こだいらMIX第1週の流れ
- 4 こだいらの学び舎T-getとは
- 5 こだいらの学び舎T-getの狙い
- 6 放送までの流れ
- 7 番組にどのような特徴と効果があるか
- 8 今後の展開




**TAMA UNIVERSITY**  
**多摩大学** 中村そのこゼミ  
**広告・宣伝・組織PR**  
**マーケティングコミュニケーション**



- ポスター・PR冊子制作
- PRイベント企画
- ラジオ番組制作
- 商品開発




## FM西東京、こだいらMIXとは

- 西東京市エリア中心としているコミュニティーラジオ局
- こだいらMIXは毎週土曜日13時～14時生放送 小平市の方たちが地域の情報発信
- 小平市内の様々な話題をスタジオと中継先からレポートし、地元のゲストも招く
- 中村そのこゼミ生やOBがその中のコーナー
- こだいらの学び舎T-getを企画制作、出演

こだいら  
MIX

84.2 MHz **FM西東京**



## ラジオ番組企画制作出演の意義

- 地域への情報発信とはどんなものか、どのようにしたらよいか、を学ぶ貴重な機会
- ゼミの研究テーマである組織PRの重要な部分
- 多摩大学T-Studio FMTMUでの番組作りに重要な貴重な経験、体験
- 3年生にとっては番組制作を通して**社会での仕事の意味を身を持って知ることができる**



## こだいらMIX偶数月第1週の流れ



- オープニングトーク
- こだいらレポート前半
- **こだいらの学び舎T-get(約15分)**
- こだいらレポート後半
- エンディング



こだいらの学び舎T-getとは

**小平周辺の大学で活躍されている  
ユニークな先生をスタジオにお招きし、  
大学での研究活動やプライベートに  
ついてのお話を、**ねほりはほい、**  
聞いてしまおうというコーナー**

**大学の新たな一面を！**



こだいらの学び舎T-getの狙い

- 単なる大学紹介、教員研究テーマの紹介だけには終わらせない
- 教員のプライベートやゼミ活動のお話から大学を知ってもらう
- 教員の専門分野の中でも「ふーんなるほど」と多くの人の興味をかきたてる話題を  
「明日使える今日より少しタメになる情報発信」
- 学生目線の切り口で今までにない教員紹介



## 放送までの流れ



- ゲストは毎回前回出演して下さった方のご紹介
- 放送日1か月前に事前取材、当日の流れの説明  
事前取材を元に台本を放送日1週間前までに仕上げる
- 放送日当日は放送の1時間半前に集合し全体での流れを確認
- 放送後は番組ブログ用の写真を撮り、ゲストの方と次回のゲストの相談
- 反省会(ゲストが帰った後)



## 番組にどのような特徴と効果があるか

- 今までの単純な教員紹介とは違う大学教員の日常の新たな側面が見られる。
- 地域の人にとって、自分が住んでいる近くの学校にはこんな面白い先生がいると言う発見
- この放送を聞き学校案内には書いていない新たな面を知り、志望校選びの参考になる
  - やっぱ先生も普通の人である



## 今後の展開

- 今よりも内容を**濃く、双方向に**  
(リスナーからの質問に答えてもらうなど)
- インタビュアーとしての**スキルアップ**  
**いい話を引き出し、リスナーにわかりやすく**  
**ゲストのすばらしさを伝える**
- ここで得た知識とスキルを文化祭などの公開  
収録や生放送で活かし、さらなる効果を
- 多摩大学**T-Studio FMTMU**での放送



ご清聴ありがとうございました



# 野沢温泉ブランディングプロジェクト

中庭ゼミ

担当教員 中庭光彦

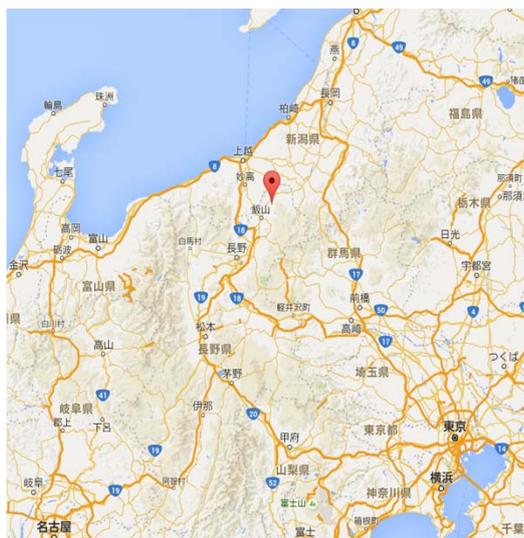
3年 高木良 千葉幸大 渡部優真

2年 鈴木将一朗 松野太亮 石崎貴之 金子晃大

河野廣之 谷口貴広 石橋直樹 伊勢涼太

## 野沢温泉村とは

野沢温泉村は、長野県北部に位置する。北陸新幹線が長野～金沢間延伸開業した事により、今までは高速バスで4時間以上かかっていた移動時間は約2時間30分と大幅に短縮された。



東京駅 → 飯山駅 → 野沢温泉村

北陸新幹線

野沢温泉ライナー

所要時間 約2時間30分

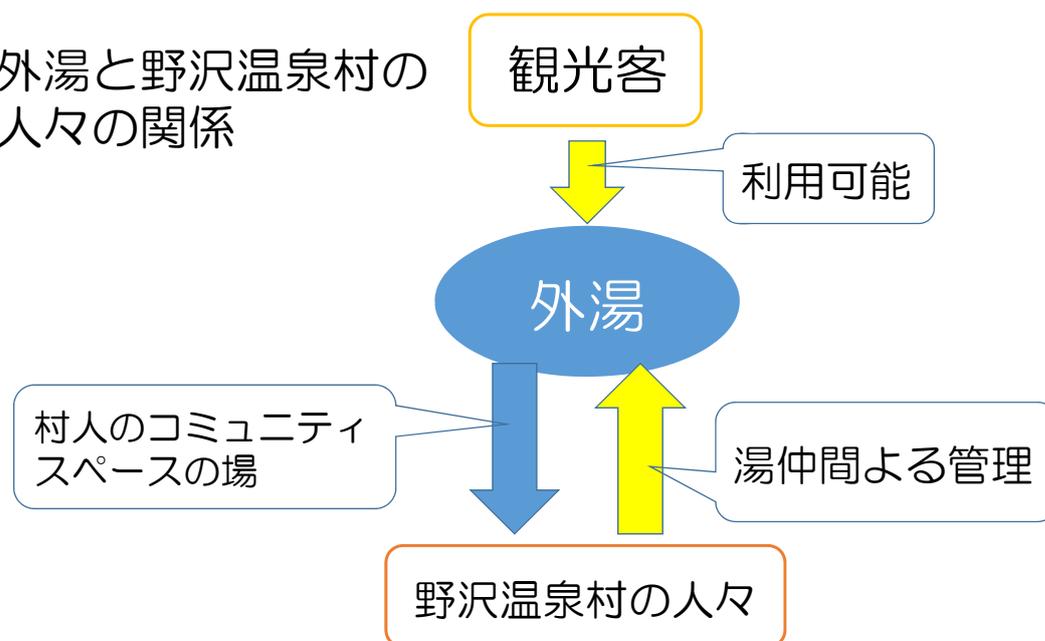
## 今までの主な観光資源

①野沢温泉・外湯

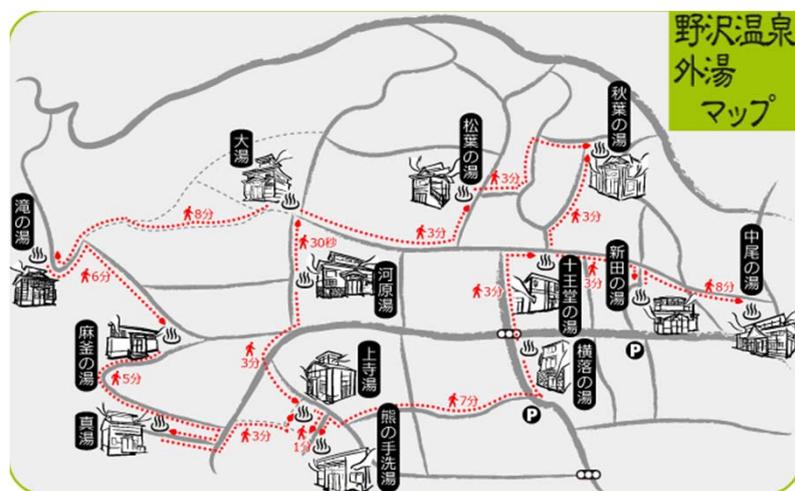
②野沢温泉村スキー場

3

外湯と野沢温泉村の  
人々の関係



4



13箇所の外湯はそれぞれ湯の温度や効能が違うので、外湯めぐりを楽しむことができる。

参照元 野沢温泉観光協会ホームページ

5

## 松葉の湯



6

## 野沢温泉村スキー場

天然雪100%の雪質の良さを求めて、オーストラリア・シンガポール・台湾などから観光客が訪れる。



7

## 野沢温泉村の問題点

多くのインタビューやインターネットでの情報により、以下3つの問題点が分かった。

- ① 宿泊施設や地元文化の維持・存続の厳しさ。
- ② インバウンド観光客に対応可能な環境整備の不十分さ。
- ③ 夏場の観光客の少なさ。

### ① 宿泊施設や地元文化の維持・存続が厳しい理由

➡ 若者の人口流出及び少子化による人口減少。

### ② インバウンド観光客に対応可能な環境整備が不十分な理由

➡ 対応できる人員や宿泊施設の整備・設備が不十分なため、十分な対応がとれていない。

### ③ 夏場の観光客が少ない理由

- 冬場に開いている飲食店は、夏場になると観光客の減少を理由に閉めてしまうところが多い。
- 夏場に行われるアクティビティが少ない。

➡ 豊富な資源が存在する冬場と違い、できることが限られる。

➡ 夏のアクティビティを進んで取り組もうとする人が少ない。

## ①、②、③の概説

以上の問題は、観光客を増やすことによって解決できる。

観光客増加によって宿泊施設や地域全体の稼ぎが増える。

知名度向上も伴い流入人口、交流人口、定住人口の増加。

まず、野沢温泉村は今後、観光に力を入れていくべき。

## 野沢温泉の課題と我々の活動の目的

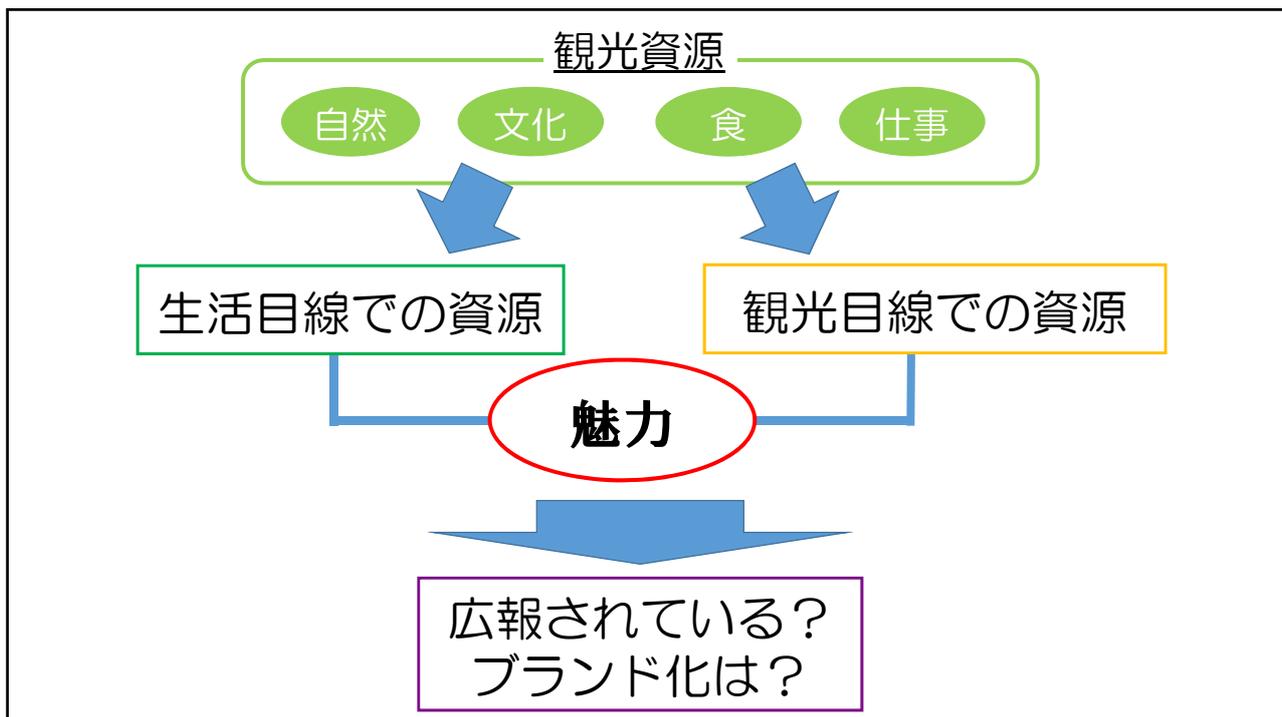
野沢温泉村の観光資源を活かして、  
冬だけでなく夏の野沢温泉村の魅力を  
学生目線で考え発掘し、活性化させたい。

12



## 野沢温泉村の観光資源

自然	文化
食	仕事



観光地資源診断シート 観光地名：野沢温泉

資源分類	アイディア	生活		時期	観光		時期	広報手段		生活、観光、広報は適合しているか？
		アクティビティ	利用者、供給者・供給者組織		アクティビティ	利用者、供給者・供給者組織		広報手段	ブランド化評価(5段階)	
自然	温泉	入浴(洗う)交流	地元民 野沢組 湯仲間	通年	入浴(体験・温泉浴・洗う)湯めぐり 交流 足湯	観光客 野沢組 湯仲間 宿泊施設	通年	ネット	4	温度が高すぎる野沢温泉の確立した文化に入ることができる地区ごとに温泉の特色を出した方がよい 外湯にシャワーなどが置かれていない 外湯の湯が綺麗ではない
	水	飲む 融雪 生活水 農水	地元民 野沢組	通年	飲む 景観 健康	観光客 供給場所なし	通年	広報紙 手配 なし	2	水の綺麗であることが広報されていない
	雪 グレンデ	スキー・スノーボード	地元民 野沢組	冬	スキー・スノーボード	オーストラリア人 シンガポール人 周辺の農 関東甲信越 野沢組	冬	ネット スポーツ雑誌	5	雪質、施設の質が良い
	山	ダウンヒル 花を撮る パターゴルフ がまごころ	地元民 野沢組	通年	ダウンヒル 花の鑑賞	観光客 野沢組	通年	ネット	2	山のアクティビティが広報されていない
	森林	ツリーハウス	地元民 観光客	通年	ツリーハウス	観光客 地元民	通年	ネット テレビ	2	交通手段が悪い、広報されていない。
	景観	なし	地元民	通年	景色を見る	観光客 地元民	通年	なし	2	ほかの観光地と比べてあまり綺麗ではない

資源分類	アイテム	生活			観光			広報手段		生活、観光、広報は適合しているか？
		アクティビティ	利用者、供給者・供給者組織	時期	アクティビティ	利用者、供給者・供給者組織	時期	広報手段	ブランド化評価(5段階)	
文化	祭り	参加	野沢組 地元民	冬	鑑賞	観光客 地元民 野沢組	冬	ネット 雑誌	5	野沢のブランド化出ている
	外湯	洗う	野沢組 地元民	通年	入浴	観光客 地元民 野沢組	通年	ネット 雑誌	4	地元民の生活の一部になっている
	村らしさ	朝市	地元民	通年	朝市 見る	地元民 観光客	通年	ネット 雑誌	4	昔ながらの文化を継承している
食	野菜	食べる	地元民	通年	食べる	観光客 地元民	通年	ネット	3	特別おいしいわけではない
	温泉まんじゅう	食べる 作る	地元民	通年	食べる	観光客 地元民	通年	なし	2	野沢オリジナルのものではない
	おやき	食べる 作る	地元民	通年	食べる	観光客 地元民	通年	なし	2	野沢独自のものではない
	水	飲む	地元民	通年	飲む	観光客	通年	なし	2	特別おいしいわけではない。広報されていない

資源分類	アイテム	生活			観光			広報手段		生活、観光、広報は適合しているか？
		アクティビティ	利用者、供給者・供給者組織	時期	アクティビティ	利用者、供給者・供給者組織	時期	広報手段	ブランド化評価(5段階)	
仕事	スキー場	スキー スノーボード ダウンヒル	野沢組 地元民	通年	スキー スノーボード ダウンヒル	観光客 野沢組	通年	ネット 雑誌	3	冬のスポーツは広報もされているが、ダウンヒルはあまり広報されていない。
	宿	経営する	地元民	通年	泊まる	観光客 地元民	通年	ネット 雑誌	2	設備が整っていない。英語を話せない
	カフェ	経営する	地元民(若者)	通年	食べる 飲む 休憩	観光客 地元民	通年	ネット	3	広報されていない
	バー	経営する	地元民(若者)	通年	食べる 飲む 交流する	観光客 地元民	通年	ネット	3	あまり広報されていない
	畑	育てる	地元民	通年	体験する	観光客 地元民	通年	ネット	2	夏に体験型のイベントを計画しているが、あまり広報されていない
	ダウンヒル	娯楽 経営	地元民(若者)	夏 秋	体験する	観光客 地元民	夏 秋	ネット	3	今までになかった新しい試みだが、あまり広報されていない。

## 野沢温泉村の資源：自然について

自然の資源：温泉・雪・ゲレンデ・水・山・森林  
 秀でているもの：温泉・雪・ゲレンデ

### ◆温泉

野沢温泉の確立した文化に触れることができる。

### ◆雪・ゲレンデ

全国的に見ても雪質と施設ともに恵まれている。

### ◆水・山・森林

いずれも良さを広報しきれていない。しかし、アクティビティなどへの利用はできるため、潜在価値はあると考えられる。



## 野沢温泉村の資源：文化について

文化の資源：祭り・外湯・村らしさ

秀でているもの：祭り・外湯・村らしさ（人々の関わり）



Find Travel この祭りは命がけ！奇祭火祭り「野沢温泉道祖神祭り」より



夜景壁紙.com より

## 野沢温泉村の資源：食について

食の資源：野沢菜・温泉まんじゅう・おやき・水

秀でているもの：なし



毎日がレビュー より



おいしいおやき♪(長野県)のんびりのんびりーの より

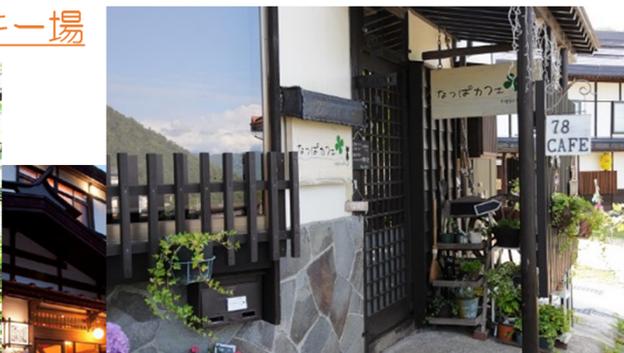
## 野沢温泉村の資源：仕事について

仕事の資源：スキー場・宿・カフェ・バー・農業・スポーツアクティビティ（マウンテンバイクによるダウンヒルなど）

秀でているもの：スキー場



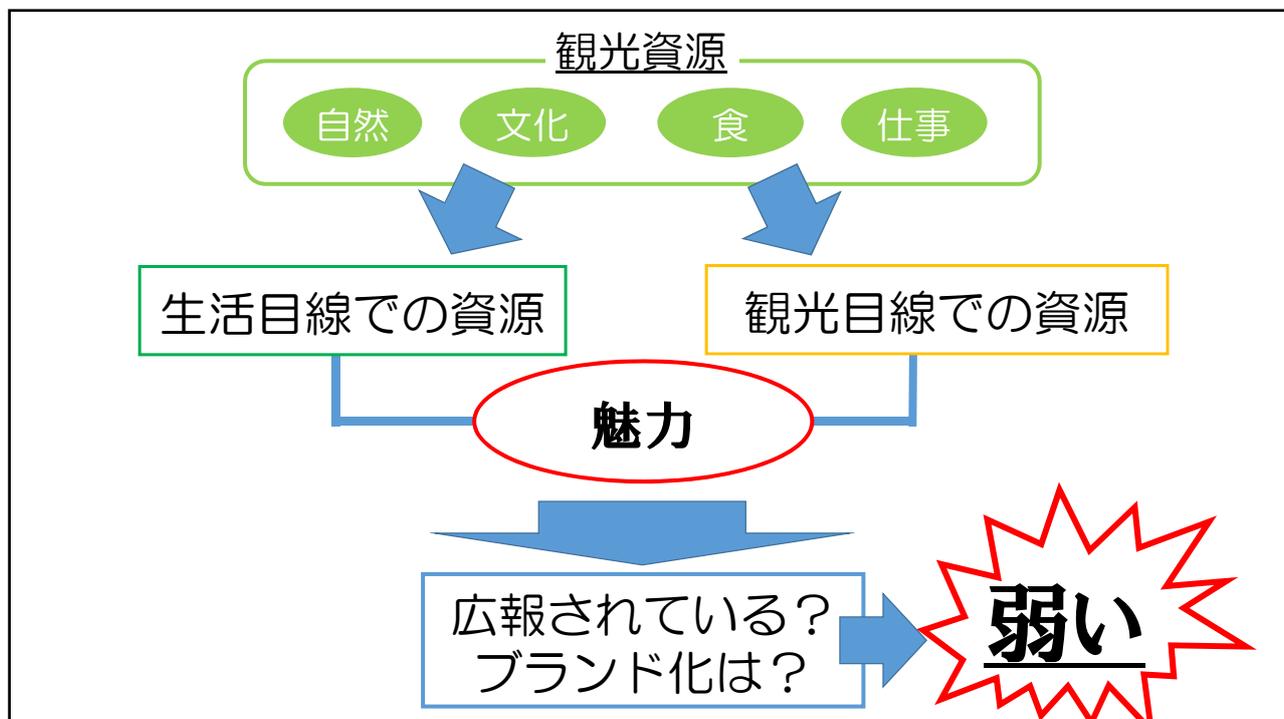
野沢温泉スキー場 より



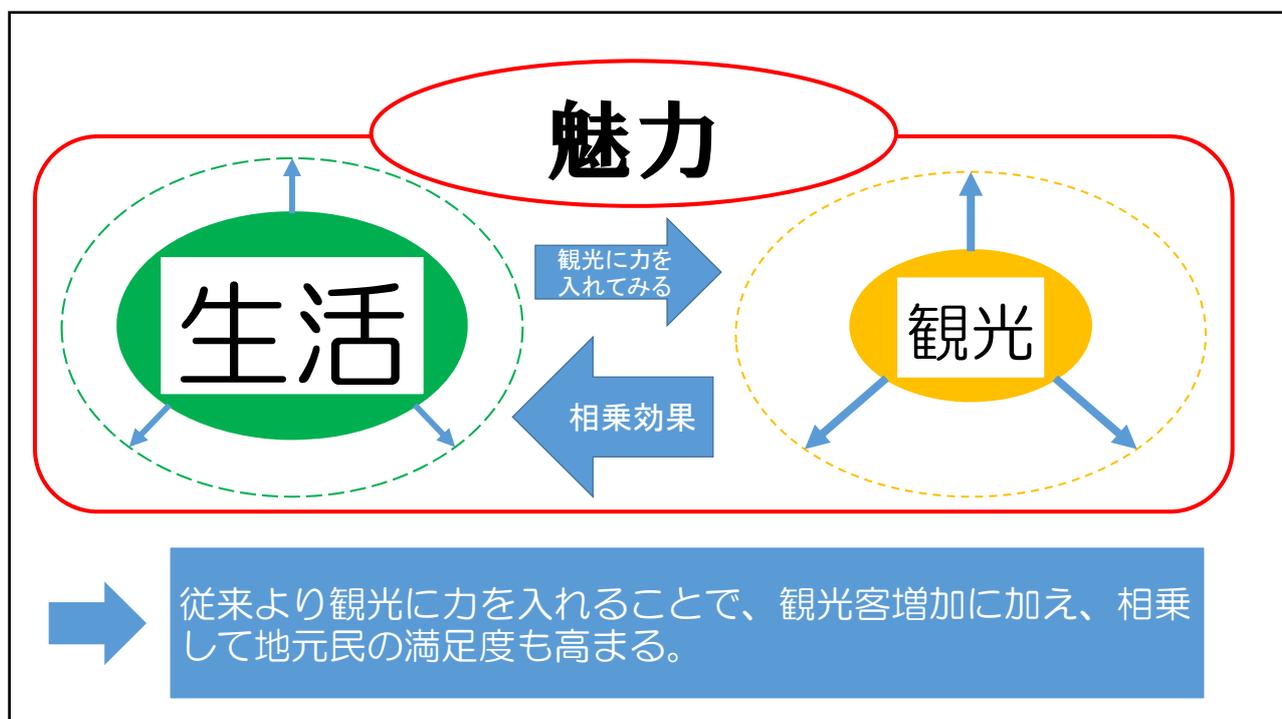
So-met  
袋田の住職、山寺  
日記 より

l.jp 群馬から長野、新潟へ  
ベツ畑と野沢温泉 より

「奈良屋旅館」北信州野沢温泉  
観光協会オフィシャルウェブサイト より



# 私たちの考え



コンセプト

## 関係性を作るまち

関係性を作る場



観光客 増加 につながる！

## 野沢で新たなアクティビティを作る人々の紹介

- ユートピア 富井一志さん
- 野沢ホスピタリティ 堀川寿子さん&ピーター・ダグラスさん
- 白樺 河野博明さん 河野健児さん夫妻
- COMPASS HOUSE 上野雄大さん夫妻
- なっばカフェ 富井潤さん夫妻

## ユートピア 富井一志さん

ユートピアは、野沢温泉村でインバウンド観光客を積極的に受け入れている民宿である。主人の富井さんは自ら「どぶろく」と呼ばれるお酒を作り、希望する宿泊客にのみ提供している。



### 野沢ホスピタリティ 堀川寿子さん ピーター・ダグラスさん

野沢ホスピタリティの経営者であるピーター・ダグラスさんは、オーストラリア出身で、野沢温泉村の豊富な観光資源に魅力を感じ、複数のホテルを展開している。

海外から野沢温泉村にロングステイしに来た観光客を積極的に引き受けている。



### 白樺 河野博明さん 健児さん夫妻

白樺は野沢温泉にある旅館の一つである。河野さんのお父さんは観光協会の副会長をされている。白樺には手作りのツリーハウスがある。

息子の健児さんはスキークロスの選手であり、試合などで全国を飛び回っている。



### COMPASS HOUSE 上野雄大さん夫妻

COMPASS HOUSEは、野沢温泉村の自然を利用したアクティビティを発信しているお店である。夏はスキー場を利用して、マウンテンバイクダウンヒル。冬はスキー・スノーボードを中心として、初めての人でも楽しみことができるように道具のレンタルや講習を行っている。またCOMPASS HOUSEを運営している上野夫妻は、2014年ソチオリンピックでフリースタイルスキー・ハーフパイプ日本代表の選手・コーチとして出場している。



### なっばカフェ 富井潤さん夫妻

なっばカフェは野沢温泉村にあるお洒落なカフェである。店内には主人の趣味で保存してある昔懐かしい物が沢山置かれており、ゆっくりとした時間を過ごすことができる。休日は多くの観光客に利用されているが、平日は地元の村人の憩いの場として利用されている。

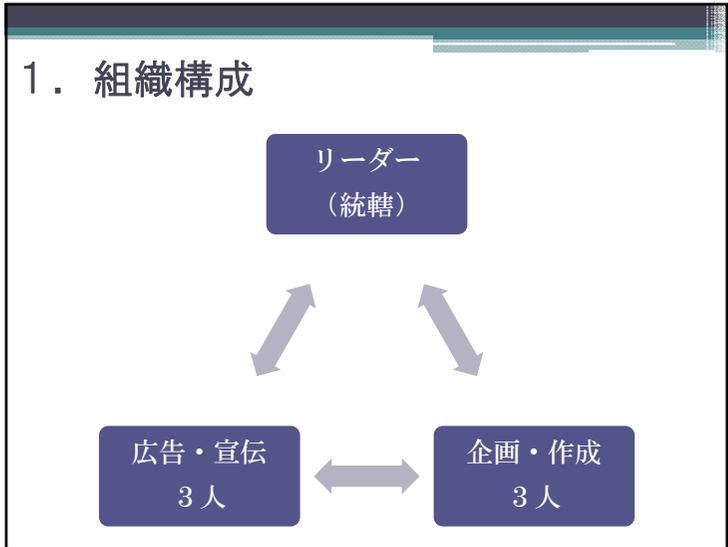


# 久恒啓一ゼミナール ヴェルディ班

「フットサルプロジェクト」

## 目次

1. 組織構成
2. 活動内容
3. 今年の活動目的
4. 前年度との違い
5. フットサルプロジェクト
6. フットサルプロジェクト
7. 大会当日
8. 優勝チーム
9. まとめ



- ## 2. 活動内容
- (昨年)**
- ✓東京ヴェルディのサンクスマッチの観戦
  - ✓フットサル大会の開催
- (今年)**
- ✓フットサル大会

### 3. 前年度との違い

ゼミナールの活動をフットサルプロジェクトに集中。



運営の資金と時間が去年より増加



多摩大学の生徒に限らず、多くの人を集客。

### 4. 今年の活動目的

- ▶フットサルの**楽しさ**を伝えたい。
- ▶フットサルを通して、多くの人と**繋がり**たい。
- ▶自ら企画・運営をして、**貴重な経験**をする。
- ▶去年の大会を**超える**イベントにする。
- ▶**思い出作り**の提供。

### 5. フットサルプロジェクト (企画・作成)

イベントの企画

資金管理

資料作成

賞品や道具の発注

開催地の用意

### 6. フットサルプロジェクト (広告・宣伝)

宣伝活動

集客のスケジュール管理

お客様の対応

ポスター・チラシの作成

イベント当日の写真撮影



## 7-1. 大会当日 (1)

受付の様子



対戦表は手書きで作りました！

## 7-2. 出場チーム紹介

- ◆ A TIMIS (1) 4年生
- ◆ B FC田村 1年生
- ◆ C おちあい 3年生
- ◆ D ミルクハート 3年生
- ◆ E TIMIS (2) 4年生

## 7-3. 大会当日 (2)



## 8. 優勝チーム



優勝は、一年生のチーム  
「**FC田村**」でした。

## 9-1. まとめ（1）

フットサルプロジェクトを開催して、様々なこと  
学び・体験しました。

- 集客の難しさ
- 運営・企画の大変さ
- 当日のハプニング
- チームワークの大切さ

## 9-2. まとめ（2）

フットサルプロジェクトー来年の改善点

1. より多くの人の集客を目指す。
2. 準備期間を効率よく使用する。
3. 運営チーム内でのチームワークと伝達の強化。
4. 様々なハプニングに備えられるように、念密に計画を立てる。

## 10. ご清聴ありがとうございました。



MEMO

多摩大学 地域活性化マネジメントセンター事務課

〒206-0022 東京都多摩市聖ヶ丘4-1-1

TEL:042-337-7113

FAX:042-337-7100